

れいわ ねんど
令和7年度

こうとうくちいきせいかつ かん ちょうさ
江東区地域生活に関する調査

こうとうくしょうがいしゃじったいちょうさ
(江東区障害者実態調査)

ちょうさけっかほうこくしょ がいようばん
【調査結果報告書 概要版】

れいわ ねん がつ
令和8年3月

ト-キョ-の、
ちよつと東。
すごく今。 KOTO City in TOKYO



目 次

だい しょう ちょうさ がいよう 第1章 調査の概要

1	ちょうさもくてき 調査目的	2
2	ちょうさたいしょう 調査対象	2
3	ちょうさきかん 調査期間	3
4	ちょうさほうほう 調査方法	3
5	かいしゅうじょうきょう 回収状況	3
6	ちょうさけっか ひょうじほうほう 調査結果の表示方法	4
7	せつもんいちらん 設問一覧	4

だい しょう ちょうさけっか 第2章 調査結果

1	しょうがいしゃ 障害者	12
2	しょうがいじ 障害児	25
3	サービス提供事業所 サービス提供事業所	37

だい 1 しょう 第 1 章

ちょうさ がいよう 調査の概要

1 調査目的

本調査は、障害のある方の地域生活の課題を把握・整理し、「江東区障害者計画」、「江東区障害福祉計画」及び「江東区障害児福祉計画」策定の基礎資料とするとともに、今後の施策のあり方を検討するために3年に1度実施しているものです。

本年度は令和8年度に策定する「第8期江東区障害福祉計画」及び「第4期江東区障害児福祉計画」策定の基礎資料とするため、実施いたしました。

2 調査対象

障害者：江東区に在住する、障害のある18歳以上や障害福祉サービスを利用されている方を対象とし、生活実態や福祉サービスの利用状況、ニーズ等を把握することを目的とする。

障害児：江東区に在住する、障害のある18歳未満や児童発達支援、放課後に通われているお子様を養育している保護者の方を対象とし、生活実態や福祉サービスの利用状況、ニーズ等を把握することを目的とする。

サービス提供事業所：障害福祉サービスや障害児通所支援等を提供されている江東区内の事業所を対象とし、福祉サービスの提供状況や事業所を運営する上での課題等を把握することを目的とする。

障害者団体：江東区内で活動されている、障害福祉や障害者支援、障害児支援に関わる団体を対象とし、障害のある方を取り巻く状況や障害者施策のあり方に対するご意見等を把握することを目的とする。

3 ちょうさきかん 調査期間

- | | |
|--|---|
| (1) しょうがいしゃ・しょうがいじ
障害者・障害児 | れいわ ねん がつ にち がつ にち
令和7年9月19日～10月17日 |
| (2) サービス提供事業所、しょうがいしゃだんたい
サービス提供事業所、障害者団体 | れいわ ねん がつ にち がつ にち
令和7年9月16日～10月10日 |
| (3) しょうがいしゃだんたい
障害者団体ヒアリング | れいわ ねん がつ にち がつ にち
令和7年10月30日～11月18日 |

4 ちょうさほうほう 調査方法

ちゅうしゅつほうほう 【抽出方法】

- しょうがいしゃ・しょうがいじちょうさ むさく いちゅうしゅつ
障害者・障害児調査：無作為抽出
- サービス提供事業所・しょうがいしゃだんたいちょうさ しっかいちょうさ
サービス提供事業所・障害者団体調査：悉皆調査

アンケート調査

- ゆうそうはいふ ゆうそうかいしゅう かいとうへいよう
郵送配布・郵送回収（WEB回答併用）
- ちょうさきかんに「ご協力のお礼とお願ひ」（はがき）を1回送付

だんたい 【団体ヒアリング】

- たいめん いちぶ めんだん
対面ヒアリング、一部オンライン面談

5 かいしゅうじょうきょう 回収状況

ちょうさひょう しゅるい 調査票の種類	はいふすう 配布数	かいしゅうすう 回収数 うち かいとうけんすう (内WEB回答件数)	かいしゅうりつ 回収率	さんこう 《参考》 れいわ ねん ど かいしゅうりつ 令和4年度回収率
しょうがいしゃ 障害者	3,992件	2,210件 (613件)	55.4%	39.7%
しょうがいじ 障害児	1,016件	612件 (340件)	60.2%	46.0%
サービス提供事業所 ていきょうじぎょうしよ	232件	148件 (96件)	63.8%	64.2%
しょうがいしゃだんたい 障害者団体	41件	27件 (15件)	65.9%	68.6%

6 調査結果の表示方法

- 回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問では、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計の場合、無回答を除外しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数の質問項目を組み合わせて分類し、それらを交差させて表やグラフを作成することで、項目間の関係を明らかにする集計方法です。
- 回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。
- 第2章における設問ごとのコメントでは、割合は令和7年度の数値を示しています。また、「無回答」「その他」「わからない」「特になし」を順位付けに用いず、参考値として記載しています。

7 設問一覧

本調査における設問一覧です。概要版では、障害者、障害児、サービス提供事業所に実施した設問を抜粋して、調査結果を掲載しています。

(1) 障害者・障害児

項目	設問番号		設問内容
	障害者	障害児	
本人の 状況	問1	問1	年齢
	問2	問2	障害種別・身体障害の内訳
	問3	問3	障害者手帳について
	—	問4	発達に関する診断について
	—	問5	発達に関する問題に気づいた年齢
	問4	—	調査回答者
	問5	問6	同居者構成
問6	—	日常生活の中での介護や支援について	

こもく項目	せつもんばんごう 設問番号		せつもんないよう 設問内容
	しょうがいしゃ 障害者	しょうがいじ 障害児	
しごと 仕事や がっこうせいかつ 学校生活	とい 問7	とい 問7	にちじょうせいかつ なか いりようてき 日常生活の中での医療的ケアについて
	とい 問8	とい 問8	にちちゅう かつどう 日中の活動について
	とい 問9	—	しゅうきようしゃ げんざいこま こんご きぼう 就業者の現在困っていること／今後の希望
	とい 問10	—	かじ いくじせんじゅうしゃ げんざいこま こんご きぼう 家事・育児専従者の現在困っていること／今後の希望
	とい 問11	—	じぎょうしよとうつうしよしゃ げんざいこま こんご きぼう 事業所等通所者の現在困っていること／今後の希望
	とい 問12	—	がっこうとう げんざいこま こんご きぼう 学校等で現在困っていること／希望する進路
	—	とい 問9	ほいく がっこうせいかつ しんぱい こま こんご こどもの保育や学校生活で心配なこと困っていること／希望する進路
	とい 問13	—	しごと ひつよう 仕事をしていくために必要なこと
	—	とい 問10	りよういく じえん じゅうじつ 療育や支援でさらに充実させるべきこと
しゃかいさんか 社会参加 やコミュ ニケーシ ョン	とい 問14	とい 問11	しゃかいさんか よ か かつどう がいしゆつ こま 社会参加や余暇活動などで外出するとき困ること
	とい 問15	とい 問12	しゃかいさんか じえん ようぼう 社会参加の支援サービスについての要望
	とい 問16	とい 問13	よ か す 余暇の過ごし方
じょうほう 情報・ そうだんさき 相談先	とい 問17	とい 問14	ふくし かん じょうほうにゆうしゆけいろ 福祉に関する情報入手経路
	とい 問18	とい 問15	ふくし じょうほう こんご しょうだんさき 福祉サービスの利用で困ったときの相談先
	とい 問19	とい 問16	ふくし じょうほう こんご かくしよ しょうだん 福祉サービスの利用について区役所などへ相談しやすくするために必要なこと
	とい 問20	とい 問17	じょうほう しゆどくりよう いしそつう ひつよう しさく 情報の取得利用や意思疎通における必要な施策
	とい 問21	—	パソコンやスマートフォン、タブレットの機能の使用について
サービス の利用	とい 問22	とい 問18	りようじょうきよう 利用状況
	とい 問23	とい 問19	どうりようけいかく さくせいじょうきよう サービス等利用計画の作成状況
	とい 問23-1	とい 問19-1	さくせい りゆう セルフプラン作成の理由
	とい 問24	とい 問20	りよう じょう じつ まんぞくど 利用しているサービスの量や質の満足度
	とい 問25	とい 問21	げんざいりよう ていきようじぎょうしゃ のぞ 現在利用しているサービス提供事業者に望むこと
く暮らし	とい 問26	とい 問22	こうとうく きよじゅうじょうきよう 江東区の居住状況
	とい 問27	とい 問23	げんざい きよじゅうけいたい 現在の居住形態
	とい 問28	—	す かん ひつよう じえん 住まいに関して必要な支援
	とい 問29	とい 問24	かけい じょうきよう 家計の状況
	とい 問30	—	しやうらいきぼう く 将来希望する暮らし

こもく 項目	せつもんばんごう 設問番号		せつもんないよう 設問内容
	しょうがいしゃ 障害者	しょうがいじ 障害児	
暮らし	問31	問25	希望する暮らしをするために／将来自立した生活を送るために必要なこと
	—	問26	江東区立図書館で充実すべきサービス
	問32	問27	取り組んでみたい文化芸術活動
さいがいじ 災害時の 支援	問33	問28	避難行動要支援者名簿の認知度
	問33-1	問28-1	個別避難計画の認知度
	問34	問29	地域の防災訓練への参加意向
	問34-1	問29-1	地域の防災訓練に参加したくない理由
	問35	問30	災害発生時に困ることや不安なこと
	問36	問31	災害時に必要な支援
	問37	問32	災害に対する備え
しょうがいしゃ 障害者 施策	問38	問33	改正障害者差別解消法（合理的配慮の提供）の認知度
	問39	問34	障害者虐待防止センターの認知度
	問40	問35	差別経験の有無
	問41	問36	障害者への虐待や差別を防ぐために必要なこと
	問42	問37	日常生活の中で周囲からの配慮を感じるか
	問43	問38	3年前と比べて江東区の障害者施策は充実したか
	問44	問39	3年前と比べて江東区の福祉サービスは変化したか
	問45	問40	障害者（児）支援施策への満足度
	問46	問41	周りの人から助けってもらったり、してもらったりしてうれしかったこと
しょうがいしゃ 障害者 スポーツ	問47	問42	取り組んでみたいスポーツ
	問48	問43	スポーツ・レクリエーションを行う際に困っていること
きょうせい 共生 社会	問49	問44	近所との付き合いの程度
	問50	問45	外出先で手助けや配慮してもらった経験の有無
	問51	問46	江東区での暮らしについて
	問52	問47	江東区に住み続けたいか
	問53	問48	障害のある人もない人も共に生活できる地域社会の実現のために大切なこと
	問54	問49	ヘルプマークの認知度
	問55	—	成年後見制度／日常生活自立支援事業の認知度
	問56	問50	公園で不便に感じていること
	問57	問51	現在の幸福度
	問58	問52	江東区の障害者施策に関する自由意見

こどもく項目	せつもんばんごう 設問番号		せつもんないよう 設問内容
	しょうがいしゃ 障害者	しょうがいじ 障害児	
かいごしゃ 介護者	とい 問59	—	しゅ かいごしゃつづきから ねんれい にち かいごじかん 主たる介護者続柄／年齢／1日の介護時間
	とい 問60	—	かいご するにあたっての なや ふあん 介護するにあたっての悩みや不安
	とい 問61	—	ちようきかんかいご ばあい たいおう 長期間介護できなくなった場合の対応
	とい 問62	—	かぞくかいご しえん 家族介護への支援について
	とい 問63	とい 問53	おも かいごしゃ ようかいごと 主な介護者の要介護度
	—	とい 問54	かいご するにあたっての なや ふあん 介護するにあたっての悩みや不安
	とい 問64	とい 問55	おも かいごしゃ きんむけたい 主な介護者の勤務形態
	とい 問64-1	とい 問55-1	かいご ための はたら がた ちようせい 介護のための働き方の調整
	とい 問64-2	とい 問55-2	しごと かいご りょうりつ こうかてき つと さき しえん 仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援
	とい 問64-3	とい 問55-3	こんご しごと かいご りょうりつじようきよう 今後の仕事と介護の両立状況
	—	とい 問56	こどもが18さい になった時の きぼうしんろ こどもが18歳になった時の希望進路
	とい 問65	とい 問57	しょうらい ふあん おも 将来で不安に思うこと
	とい 問66	とい 問58	いりようてき ケアを ひつよう とする かいご についての ぐんりごとや ふあん 医療的ケアを必要とする介護についての困りごとや不安

(2) サービス提供事業所

こどもく項目	せつもんばんごう 設問番号	せつもんないよう 設問内容
じぎょうしょ 事業所	とい 問1	じぎょうしょ けいえいしゅたい 事業所の経営主体
	とい 問2	じぎょうしょ しょくいんすう 事業所の職員数
	とい 問3	しょくいん けいけんねんすう 職員の経験年数
	とい 問4	してい う 指定を受けているサービス
	とい 問5	かいごほけん サービスの してい 介護保険サービスの指定
	とい 問6	じぎょうしょ かいぎょうねん 事業所の開業年
サービスの提供	とい 問7	りようしやすう サービス利用者数
	とい 問8	ていきようりよう サービスの提供量
	とい 問9	ていきよう うえ かだい サービスを提供する上での課題
	とい 問10	りようしや かぞく そうだん くじょうないよう 利用者やご家族からの相談や苦情内容
	とい 問11	しつ こうじよう じんざいいくせい とりくみ スタッフの質の向上や人材育成のための取組
	とい 問12	しつ こうじよう とりくみ サービスの質の向上のため取組
	とい 問13	かくじゅう おも しえん ぶんや 拡充したいと思う支援の分野
	とい 問14	かくじゅう おも ちしき ぶんや 拡充したいと思う知識やスキルの分野

こゝもく 項目	せつもんばんごう 設問番号	せつもんないよう 設問内容	
じぎょうしょ 事業所 運営	問15	ちからをいれいているサービス	
	問16	ていきょう提供サービスの収入割合	
	問17	じぎょうしょ事業所をけいえいしていく上での課題	
	問18	じんざいかくほ人材確保のための取組	
	問19	ふくしじんざいかくほ福祉人材確保・定着のための補助金について	
	問20	しよくいんすう職員数の充足状況	
	問20-1	しよくいんすう職員数が不足している理由	
	問20-2	しよくいんすう職員数が不足している職種	
	問21	こんねんど今年度の収支状況	
	問22	ぜんねんど前年度との収支状況の比較	
	問23	しゅうしこうじょうかいぜん収支の向上や改善についての考え	
	問24	しんきさんにゅう新規参入や事業拡大を検討しているサービス	
	じぎょうしょ 事業所 運営	問25	しんきさんにゅう新規参入や事業拡大する上での課題
		問26	しんきさんにゅう新規参入を事業拡大促進のために必要な区での取組
問27		かつようICTを活用している業務	
問28		いりょうてき医療的ケア／じゅうどしんしんしょうがい重度心身障害／きょうどうどうしょうがい強度行動障害への対応状況	
問28-1		いりょうてき医療的ケア／じゅうどしんしんしょうがい重度心身障害／きょうどうどうしょうがい強度行動障害への配慮内容	
問28-2		いりょうてき医療的ケア／じゅうどしんしんしょうがい重度心身障害／きょうどうどうしょうがい強度行動障害へのサービスで必要なこと	
問29		くぜんたい区全体で不足していると思われるサービスや支援	
問30		きょうせいがた共生型サービスの認知度／にんちど指定状況	
問31		にゅうしよしゃ入所者の地域生活への移行を進める上での課題	
問32		ちいきせいかつ地域生活への移行を進める上で工夫していること	
問33		ぎゃくたいぼうしんたいさく虐待防止対策の取組	
問34		しよくいん職員によるぎゃくたい虐待やハラスメント防止のための工夫	
問35		りようしゃ利用者によるぼうりよく暴力やハラスメント防止のための工夫	
問36		りようしゃ利用者の意思決定支援の対応状況	
問37	さいがいじたいさく災害時対策の取組		
れんけい 連携	問38	ちいきじゅうみん地域住民・だんたい団体・ボランティア等との関わりについて	
	問39	ちいき地域とのれんけい連携を図るためにやっていること	
	問40	れんけい連携している関係機関・だんたい団体	
	問41	かんけいきかん関係機関・だんたい団体とのれんけいきょうか連携強化のために必要なこと	
じゅういけん 自由意見	問42	こうとうく江東区のしょうがいしゃさく障害者施策に関するじゅういけん自由意見	

(3) 障害者団体

設問番号	設問内容
問1	相談・情報提供体制、コミュニケーション支援
問2	自立生活支援
問3	保健・医療
問4	ユニバーサルデザイン、生活環境
問5	雇用・就労
問6	地域活動支援
問7	区民の理解・共感の醸成・促進
問8	地域生活環境整備
問9	配慮を必要とするこどもに対する教育・療育
問10	団体運営・活動上の課題等
問11	その他、活動上感じる課題等

だい 第 2 しょう 章

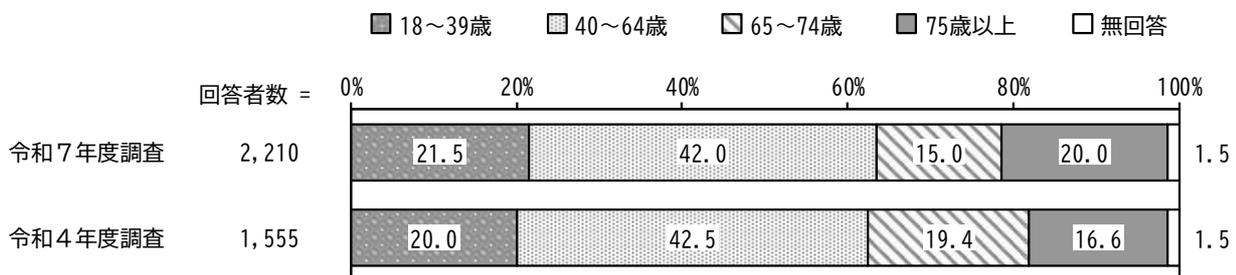
ちょうさけっか 調査結果

1 障害者

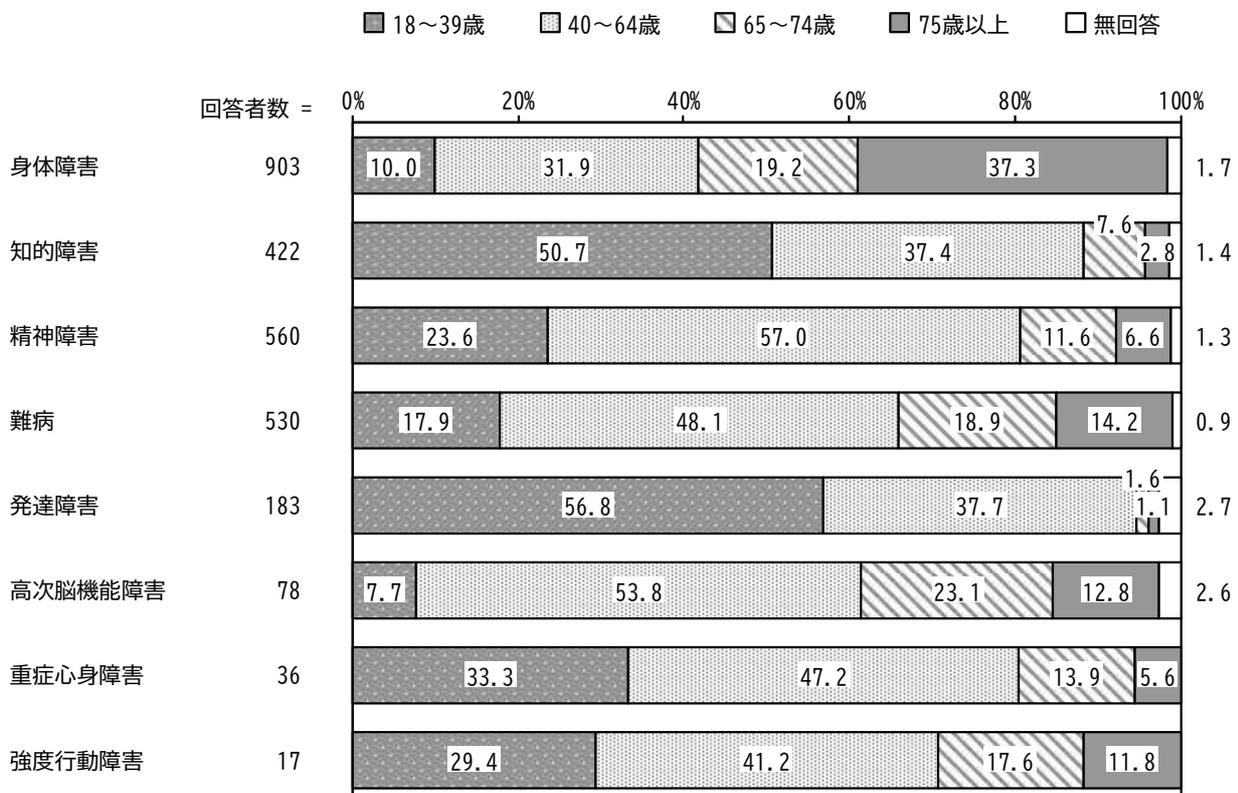
(1) ご本人の状況

問1 あなた（ご本人）の年齢は、何歳ですか。令和7年9月1日現在の年齢を記入してください。

「40～64歳」の割合が42.0%と最も高く、次いで「18～39歳」が21.5%、「75歳以上」が20.0%となっています。

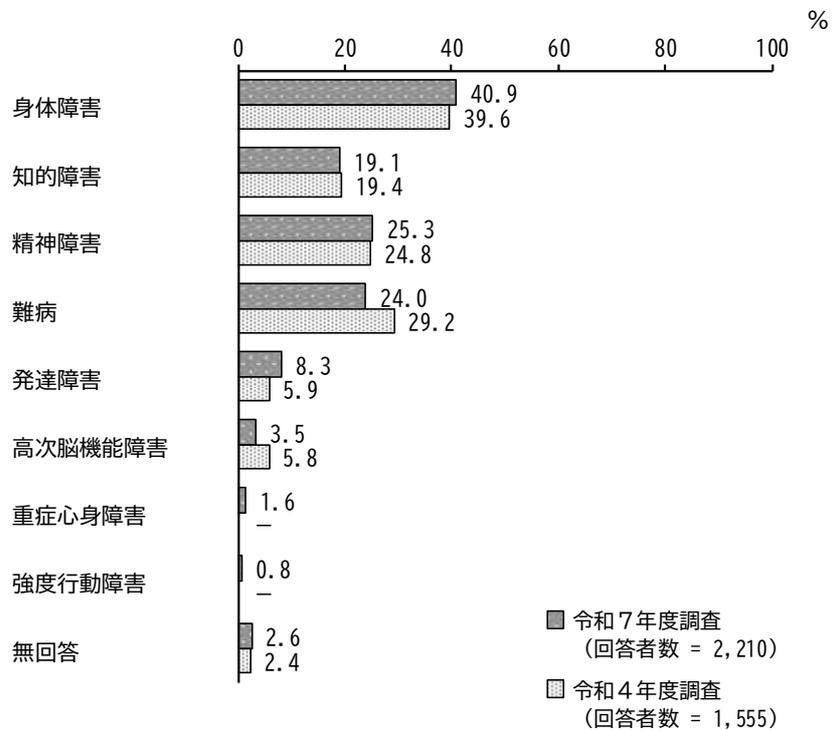


【障害種別】



問2 あなた（ご本人）の障害について、お聞きします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

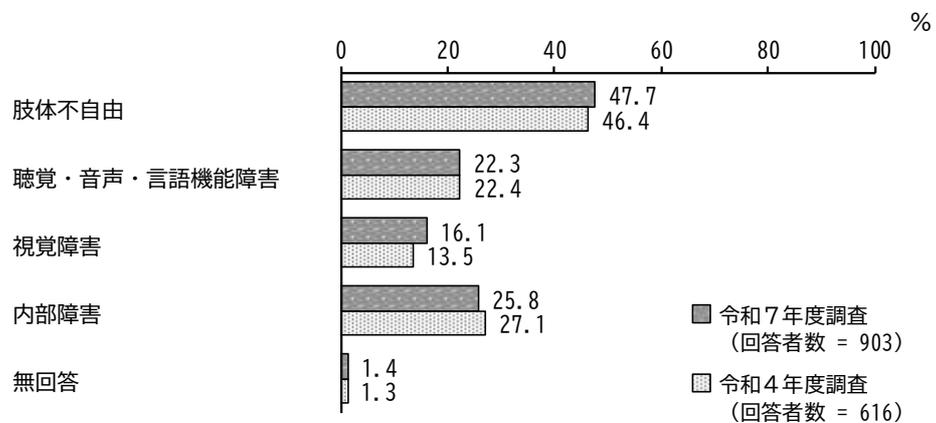
「身体障害」の割合が40.9%と最も高く、次いで「精神障害」が25.3%、「難病」が24.0%となっています。



※回答項目の「重症心身障害」、「強度行動障害」は今回の調査で新たに追加した選択肢です。

身体障害の内訳

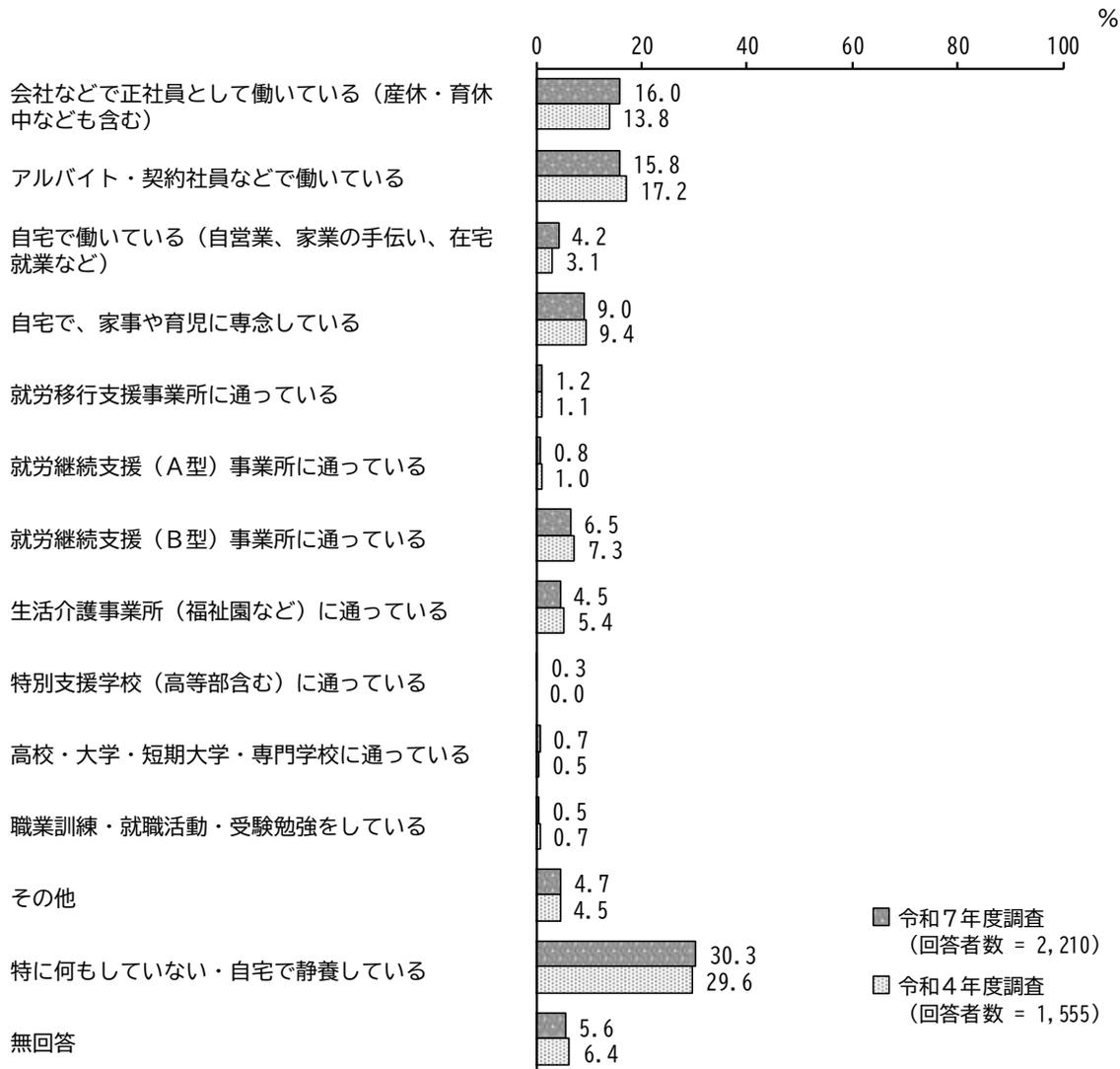
「肢体不自由」の割合が47.7%と最も高く、次いで「内部障害」が25.8%、「聴覚・音声・言語機能障害」が22.3%となっています。



(2) 仕事や学校生活

問8 あなた（ご本人）は、普段（休日以外）は、どのように過ごしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「特に何もしていない・自宅で静養している」の割合が30.3%と最も高く、次いで「会社などで正社員として働いている（産休・育休中なども含む）」が16.0%、「アルバイト・契約社員などで働いている」が15.8%となっています。

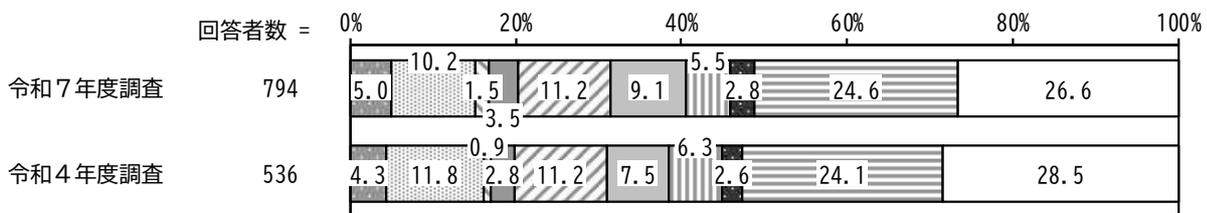


問9 仕事をする上で困っていることはありますか。また、今後どのような希望がありますか。それぞれもっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

<困っていること>

「通勤距離・時間、通勤時の混雑が負担に感じる」の割合が11.2%と最も高く、次いで「上司や同僚、取引相手とのコミュニケーションの取り方が難しい」が10.2%となっています。

- 仕事内容が、自分の能力や希望に合っていない
- 上司や同僚、取引相手とのコミュニケーションの取り方が難しい
- 職場のバリアフリー化が不十分である
- 勤務時間（短時間勤務やシフト）などの配慮が不十分である
- 通勤距離・時間、通勤時の混雑が負担に感じる
- 定期的な通院や健康管理との両立が難しい
- 職場に相談できる人がいない
- 職場のことを相談する人や場所がない
- その他
- 無回答

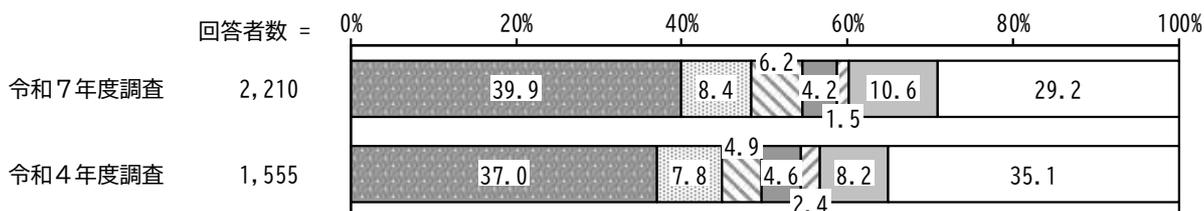


(3) 社会参加やコミュニケーション

問15 社会参加の支援サービスについてどのような要望がありますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

「利用しやすくしてほしい（利用の条件や手続きなど）」の割合が39.9%と最も高くなっています。

- 利用しやすくしてほしい（利用の条件や手続きなど）
- 利用できる時間帯を増やしてほしい
- ヘルパー事業所が増えてほしい
- ヘルパーの質を上げてほしい
- 手話通訳や点訳・音訳などができる人が増えてほしい
- その他
- 無回答

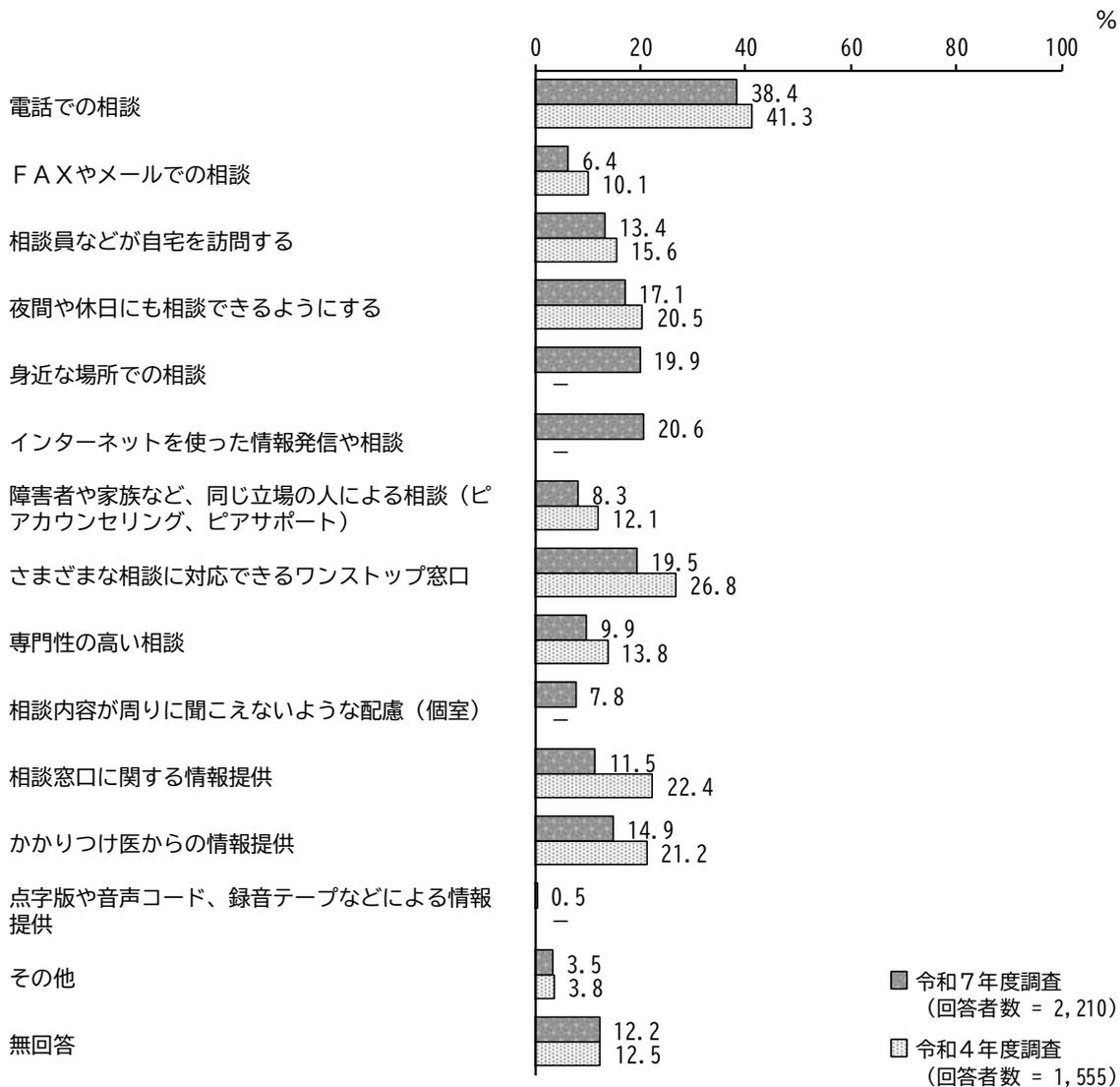


(4) 情報・相談先

問19 福祉サービスの利用について、区役所などへ相談しやすくするには、どのようなことが必要だと思えますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「電話での相談」の割合が38.4%と最も高く、次いで「インターネットを使った情報発信や相談」が20.6%、「身近な場所での相談」が19.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口」「相談窓口に関する情報提供」「かかりつけ医からの情報提供」が減少しています。

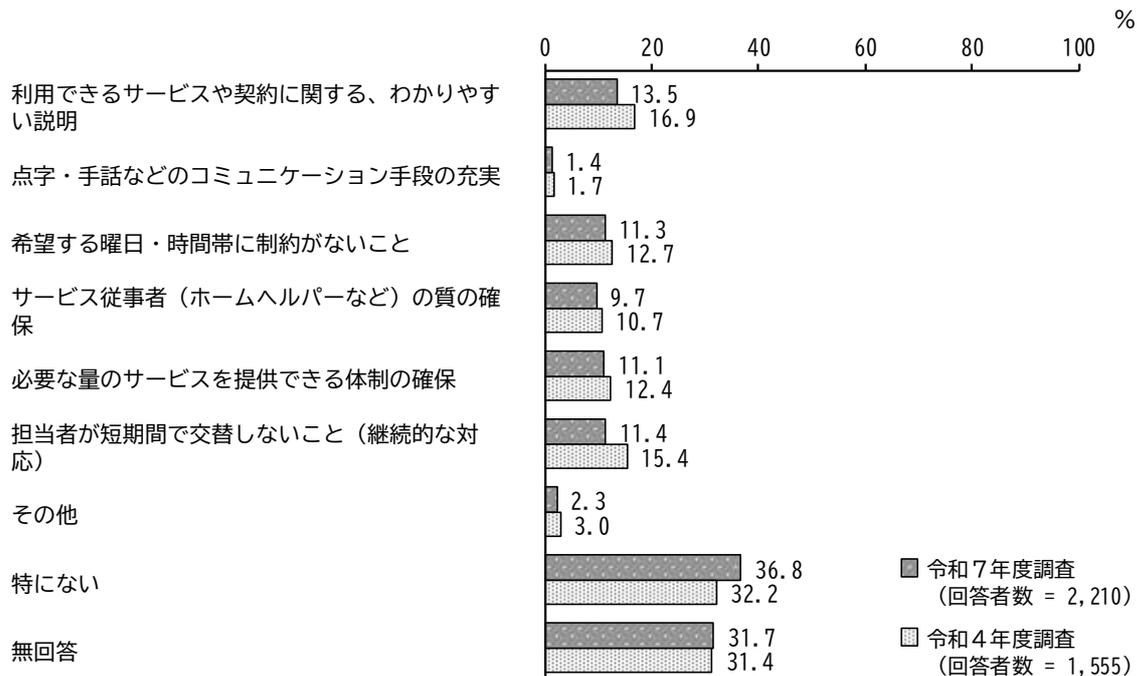


※回答項目の「身近な場所での相談」、「インターネットを使った情報発信や相談」、「相談内容が周りに聞こえないような配慮（個室）」、「点字版や音声コード、録音テープなどによる情報提供」は、今回の調査で新たに追加した選択肢です。

(5) サービスの利用

問25 現在利用しているサービス提供事業者に対して、どのようなことを望んでいますか。
 あてはまるものすべてに○をつけてください。

「利用できるサービスや契約に関する、わかりやすい説明」の割合が13.5%と最も高く、
 次に「担当者が短期間で交替しないこと（継続的な対応）」が11.4%、「希望する曜日・時間帯
 に制約がないこと」が11.3%となっています。

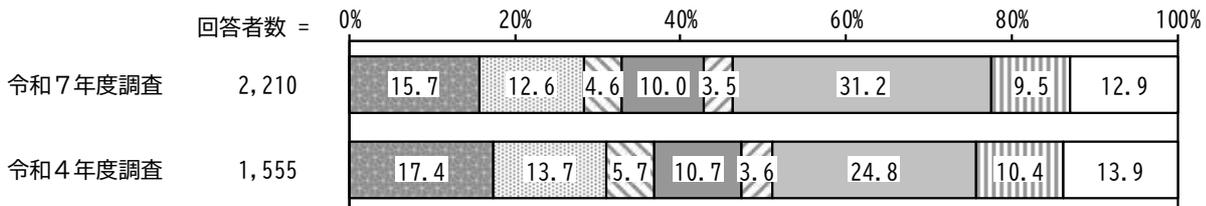


(6) 暮らし

問30 あなた（ご本人）は、将来どのような暮らしを希望していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。※今の暮らしを続けていきたい方は、今の状況をお答えください。

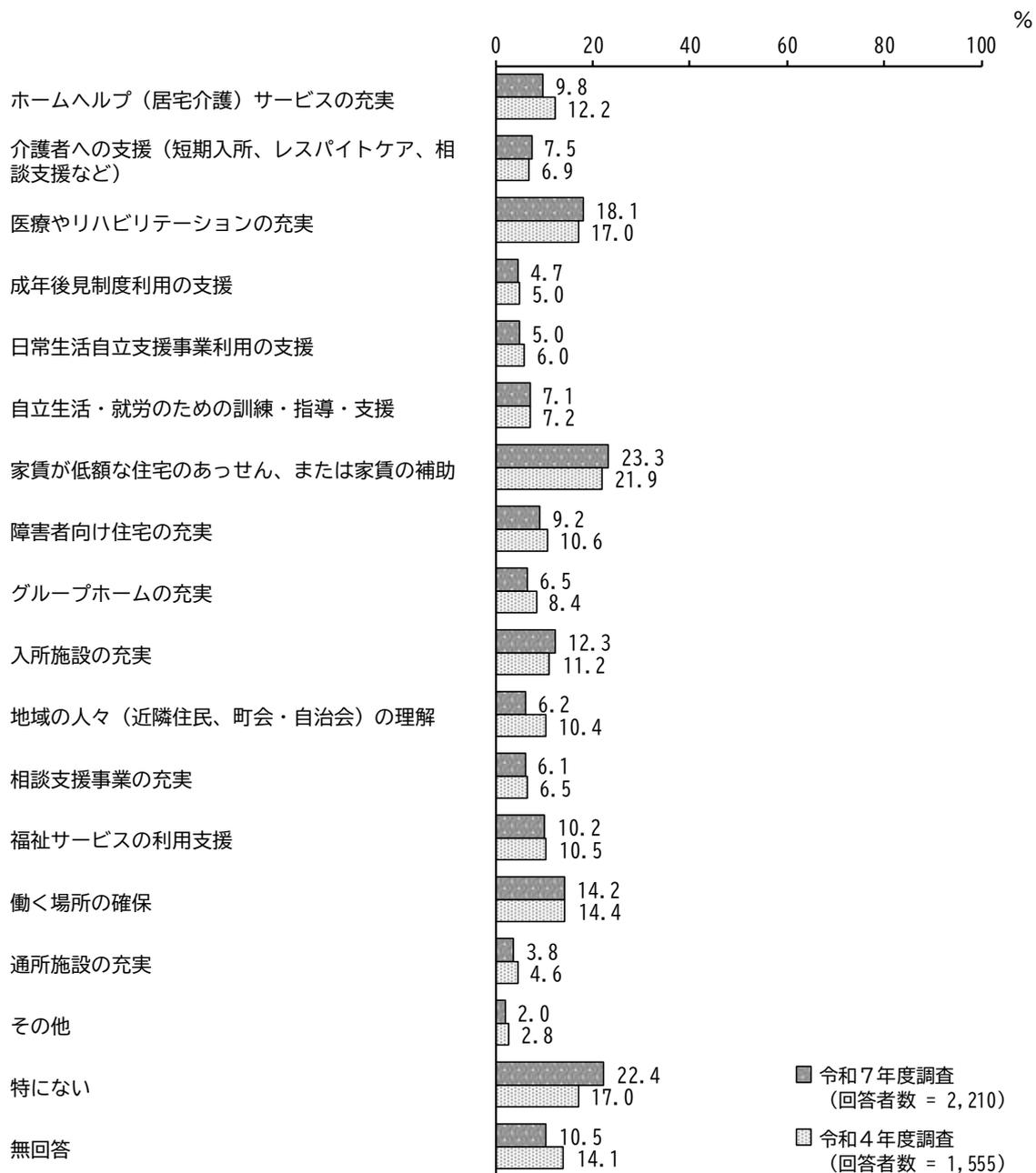
「親元から独立した生活（ひとり暮らし、結婚など）」の割合が15.7%と最も高く、次いで「親や親族のもとでの生活」が12.6%、「区内に施設があれば、入所施設での生活」が10.0%となっています。

- 親元から独立した生活（ひとり暮らし、結婚など）
- 親や親族のもとでの生活
- グループホームでの生活
- 区内に施設があれば、入所施設での生活
- 区外でも良いので、入所施設での生活
- わからない
- その他
- 無回答



問31 あなた（ご本人）が希望する暮らしをするために必要なことは、何ですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

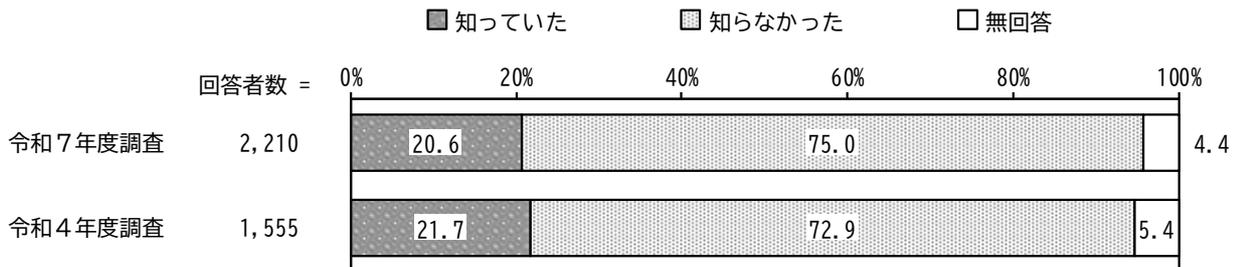
「家賃が低額な住宅のあっせん、または家賃の補助」の割合が23.3%と最も高く、次いで「医療やリハビリテーションの充実」が18.1%、「働く場所の確保」が14.2%となっています。



(7) 災害時の支援

問33 区では、災害が起きた時に避難することが難しい方、希望する方の情報を掲載した「避難行動要支援者名簿」を作成し、区役所や消防署、警察などで共有して災害時に役立てることとしています。この名簿について知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

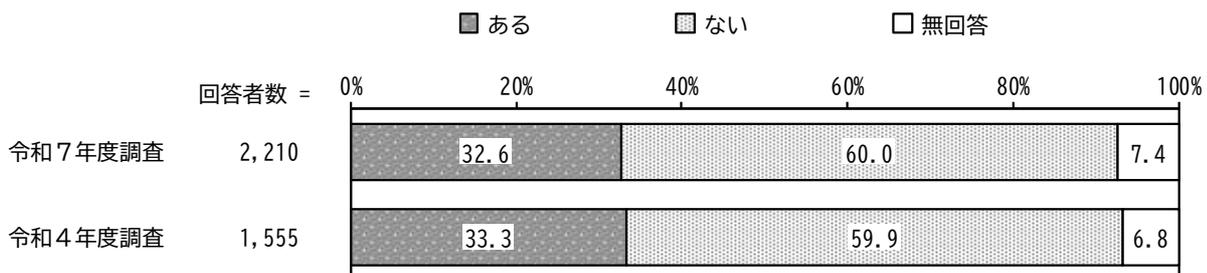
「知っていた」の割合が20.6%、「知らなかった」が75.0%となっています。



(8) 障害者施策

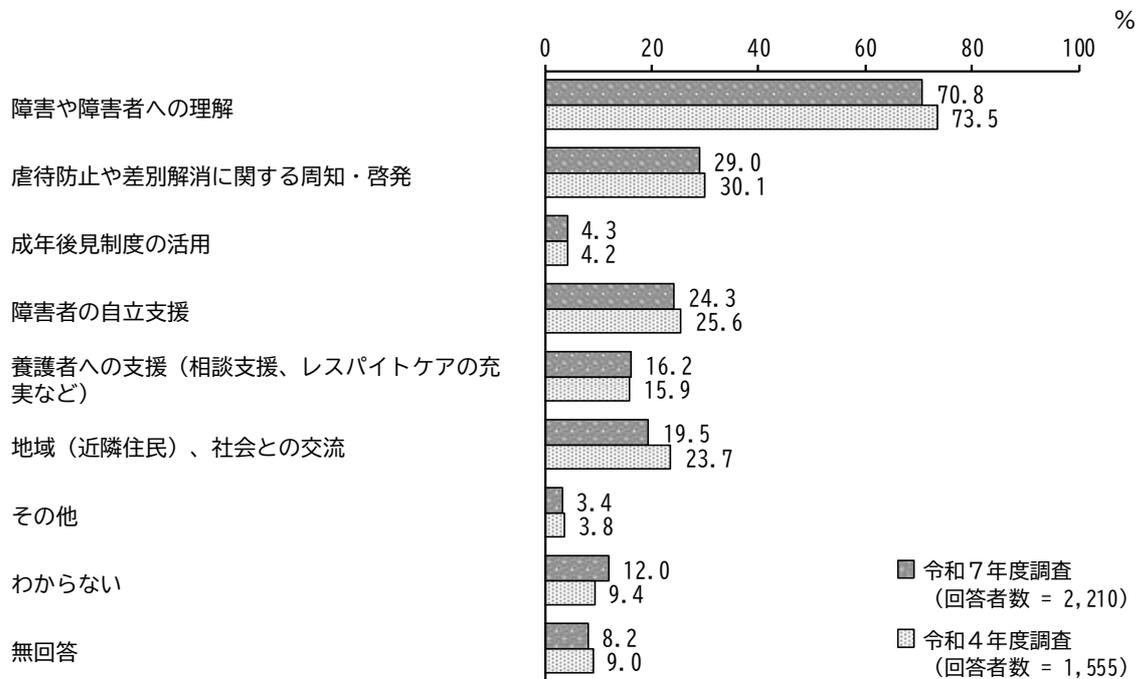
問40 あなた（ご本人）は、これまでに差別をされたと感じた経験はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「ある」の割合が32.6%、「ない」が60.0%となっています。



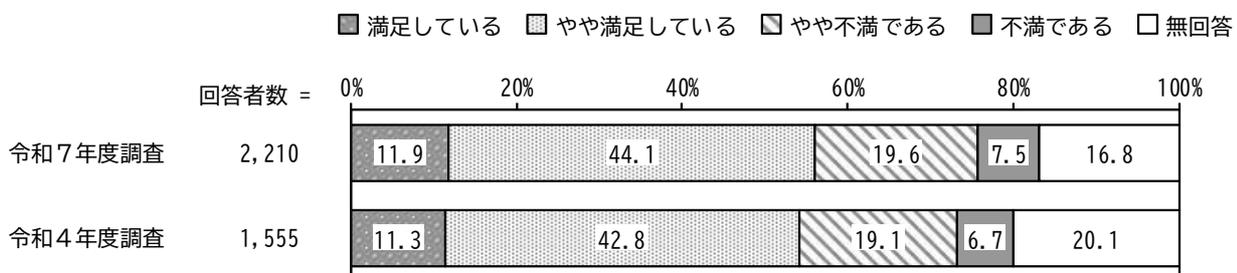
問41 障害者への虐待や差別を防ぐには、何が重要だと思えますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「障害や障害者への理解」の割合が70.8%と最も高く、次いで「虐待防止や差別解消に関する周知・啓発」が29.0%、「障害者の自立支援」が24.3%となっています。



問45 あなた（ご本人）は、障害者支援施策に満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

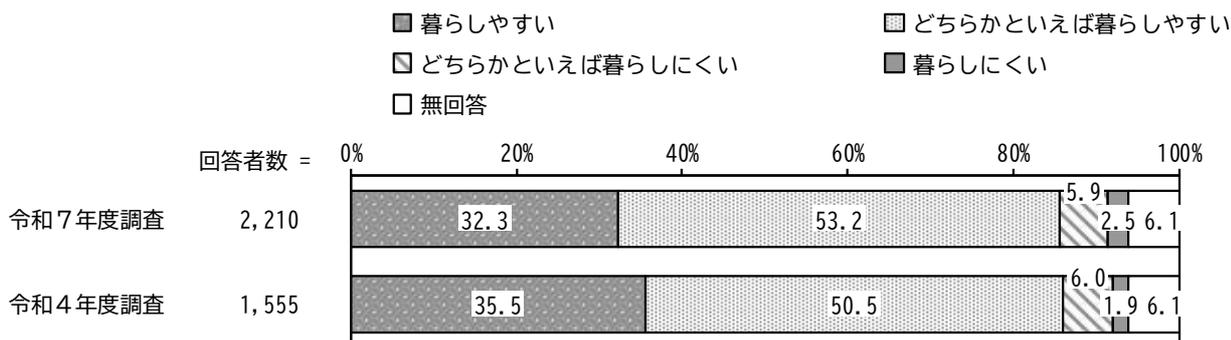
「満足している」「やや満足している」を合わせた“満足している”の割合が56.0%、「やや不満である」「不満である」を合わせた“不満である”が27.1%となっています。



(9) 共生社会 きょうせいしゃかい

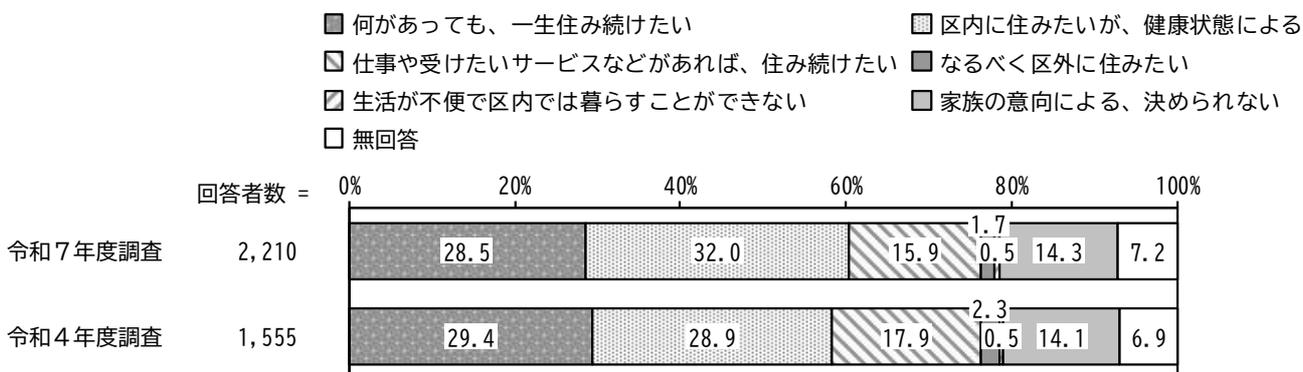
問51 あなた（ご本人）にとって、江東区での暮らしはいかがですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「暮らしやすい」「どちらかといえば暮らしやすい」を合わせた「暮らしやすい」の割合が85.5%、「どちらかといえば暮らしにくい」「暮らしにくい」を合わせた「暮らしにくい」が8.4%となっています。



問52 あなた（ご本人）は、江東区に住み続けたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

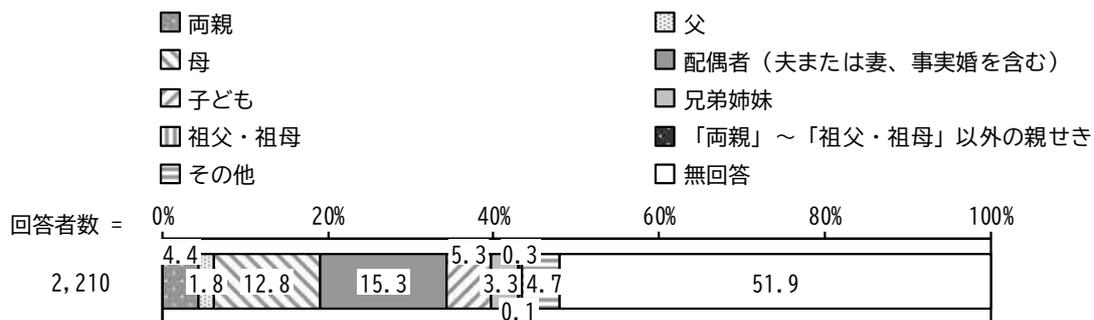
「区内に住みたいが、健康状態による」の割合が32.0%と最も高く、次いで「何があっても、一生住み続けたい」が28.5%、「仕事や受けたいサービスなどがあれば、住み続けたい」が15.9%となっています。



(10) 介護者

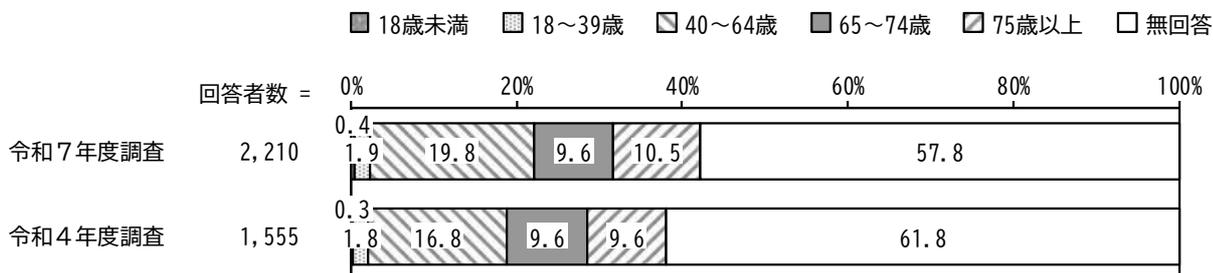
問59 主たる介護者の方の続柄（ご本人様から見た関係）と年齢、1日の平均的な介護の時間数について、お聞きします。続柄は、あてはまるもの1つに○をつけてください。年齢と1日の平均的な介護の時間数は、それぞれ記入してください。

「配偶者」の割合が15.3%と最も高く、次いで「母」が12.8%となっています。



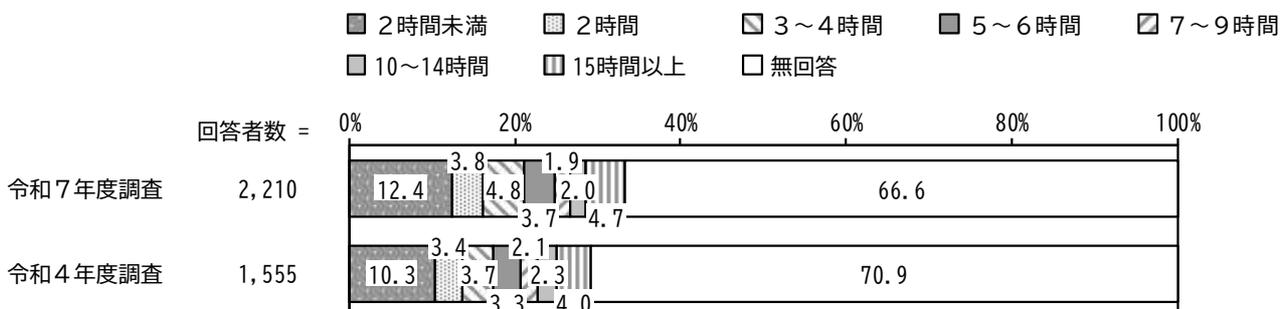
ア) 介護者の年齢

「40～64歳」の割合が19.8%と最も高く、次いで「75歳以上」が10.5%となっています。



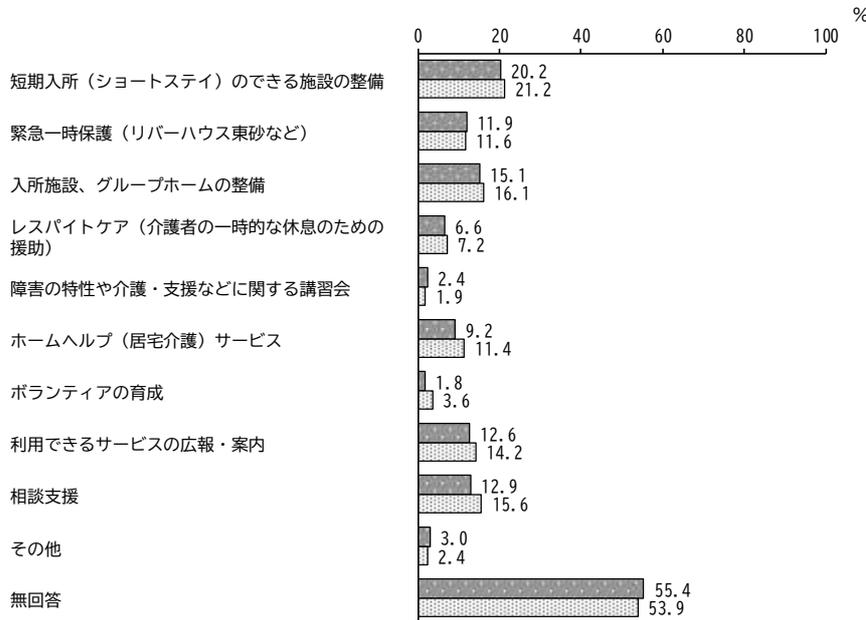
イ) 1日の介護時間

「2時間未満」の割合が12.4%と最も高くなっています。



問62 家族で介護する方への支援策として、今後充実してほしいことは何ですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「短期入所（ショートステイ）のできる施設の整備」の割合が20.2%と最も高く、次いで「入所施設、グループホームの整備」が15.1%、「相談支援」が12.9%となっています。



■ 令和7年度調査
（回答者数 = 2,210）
 ■ 令和4年度調査
（回答者数 = 1,555）

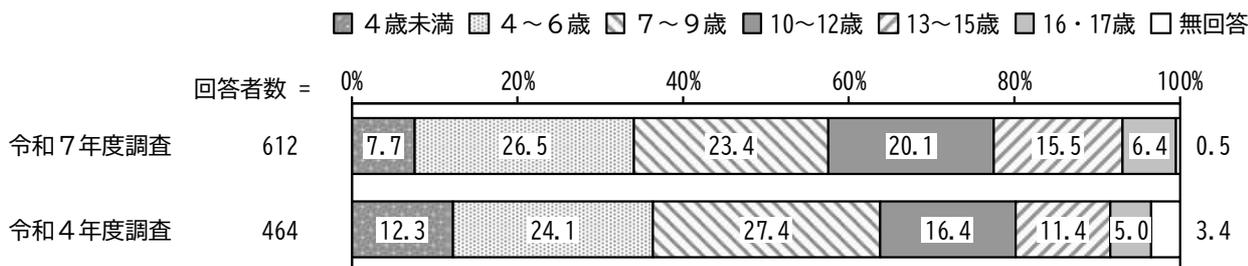
※回答項目の「障害の特性や介護・支援などに関する講習会」は、令和4年度調査では「障害の特性や介護（介助）などに関する講習会」となっていました。

2 しょうがいじ 障害児

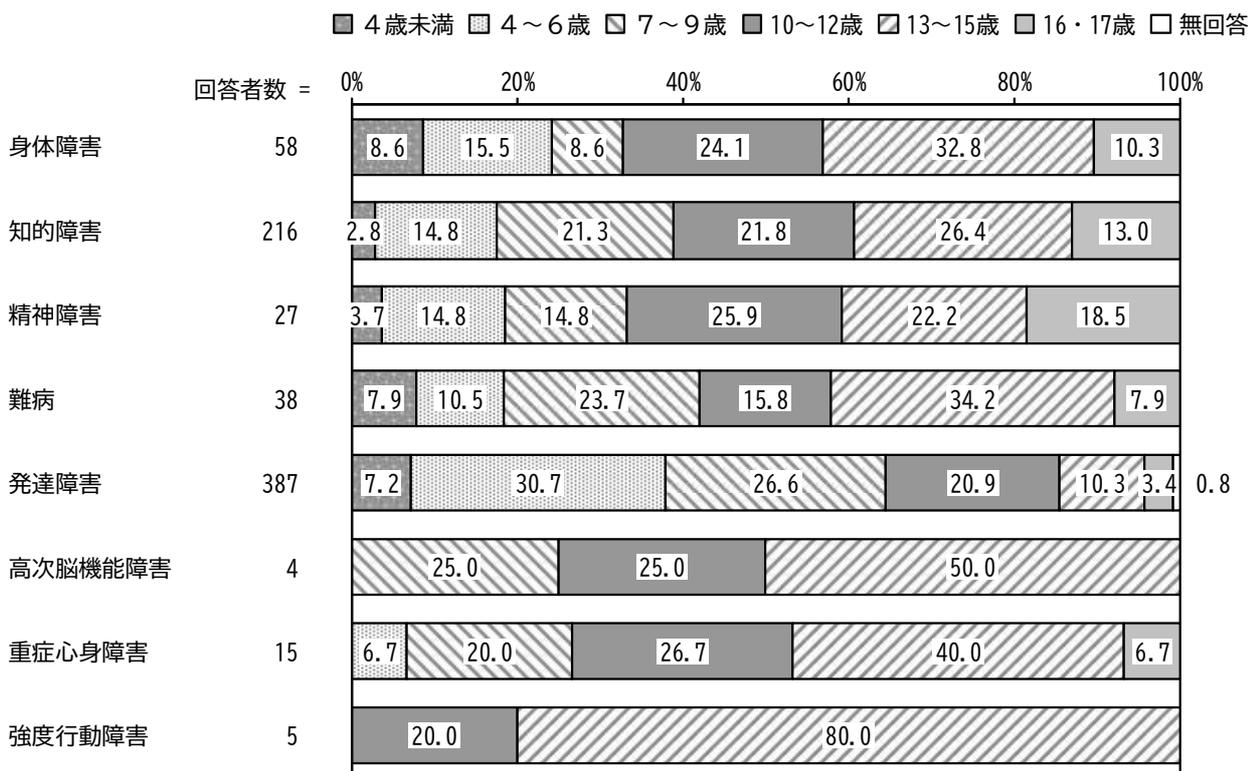
(1) お子様の状況

問1 お子様の年齢は、何歳ですか。令和7年9月1日現在の年齢を記入してください。

「4～6歳」の割合が26.5%と最も高く、次いで「7～9歳」が23.4%、「10～12歳」が20.1%となっています。

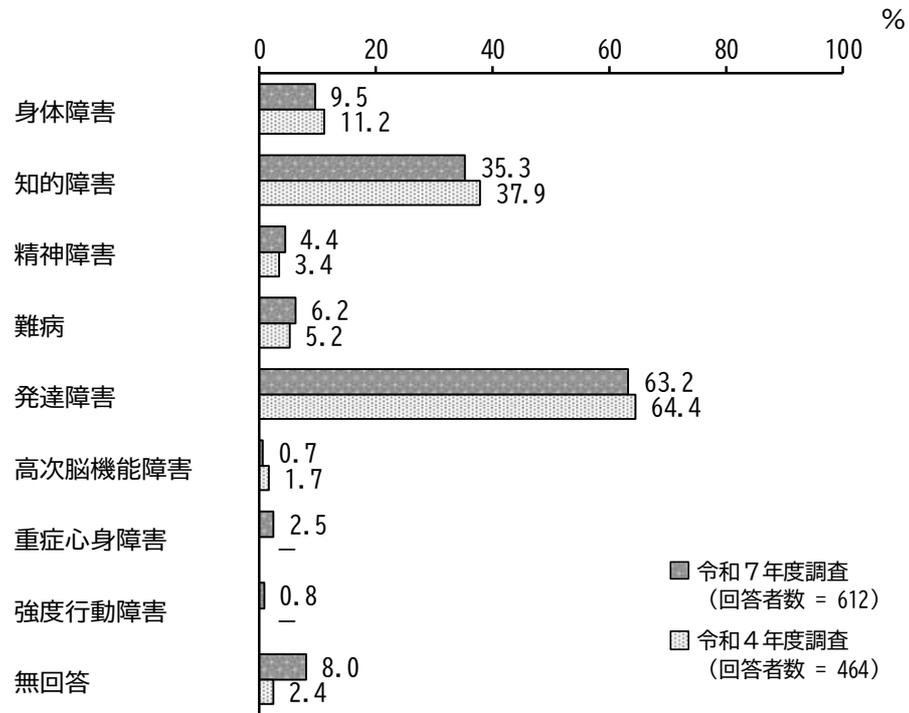


(しょうがいしゅべつ) 【障害種別】



問2 お子様の障害について、お聞きします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「発達障害」の割合が63.2%と最も高く、次いで「知的障害」が35.3%となっています。

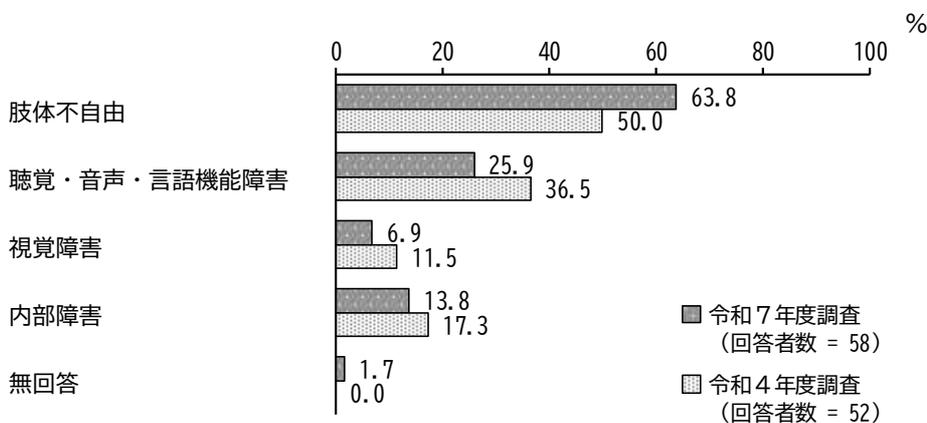


※回答項目の「重症心身障害」、「強度行動障害」は、今回の調査で新たに追加した選択肢です。

身体障害の内訳

「肢体不自由」の割合が63.8%と最も高く、次いで「聴覚・音声・言語機能障害」が25.9%、「内部障害」が13.8%となっています。

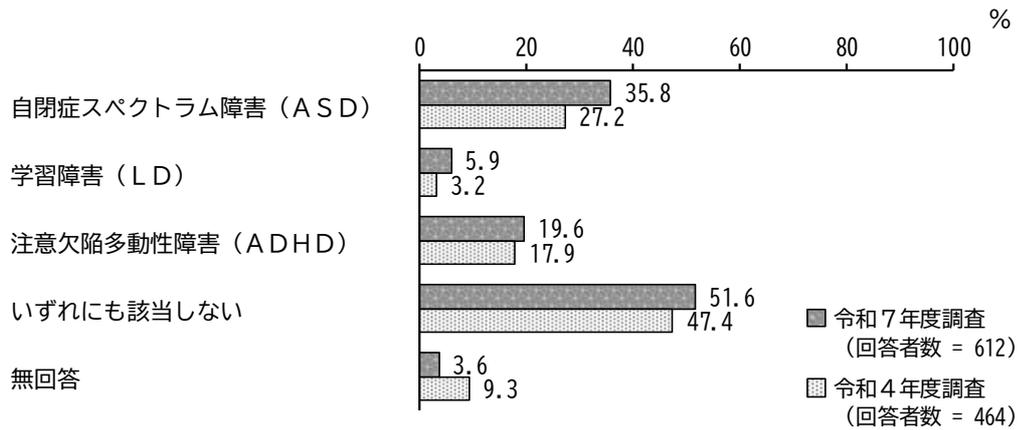
令和4年度調査と比較すると、「肢体不自由」が増加しています。



問4 お子様は、次のような診断を受けていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「自閉症スペクトラム障害（ASD）」の割合が35.8%、「学習障害（LD）」が5.9%、「注意欠陥多動性障害（ADHD）」が19.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「自閉症スペクトラム障害（ASD）」が増加しています。

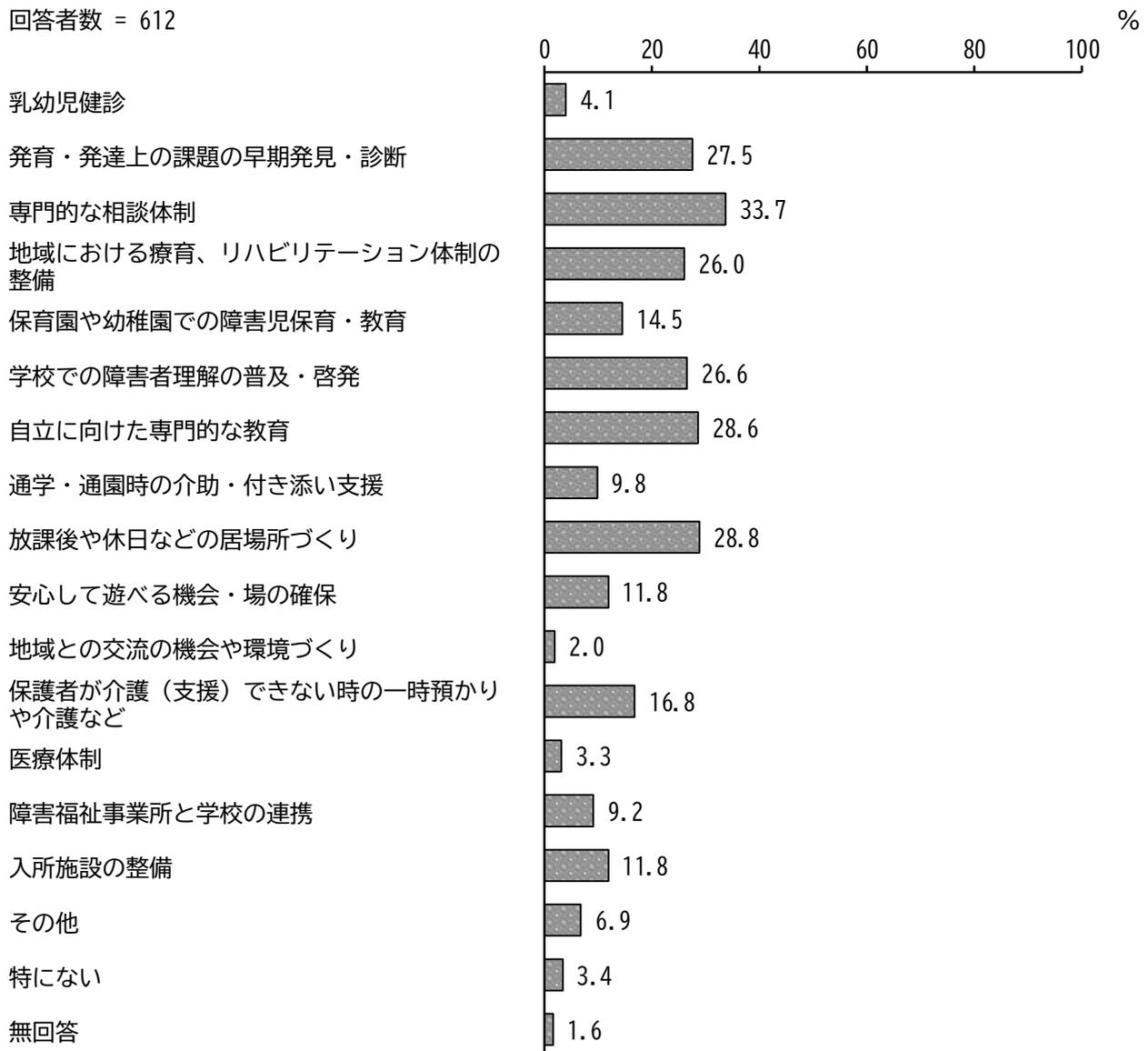


(2) 仕事や学校生活

問10 療育や支援で、さらに充実させるべきだと思うことはありますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「専門的な相談体制」の割合が33.7%と最も高く、次いで「放課後や休日などの居場所づくり」が28.8%、「自立に向けた専門的な教育」が28.6%となっています。

回答者数 = 612



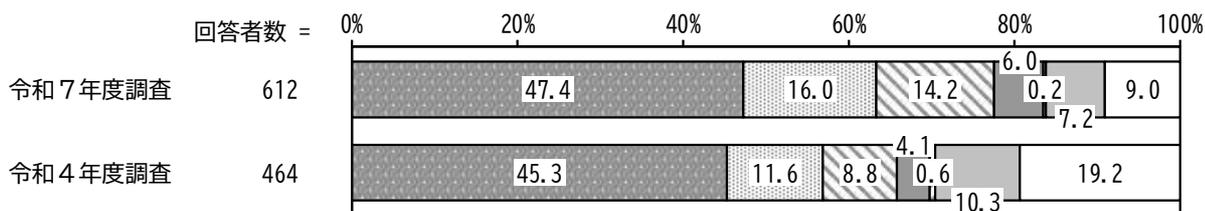
(3) 社会参加やコミュニケーション

問12 社会参加の支援サービスについてどのような要望がありますか。もっともあてはまるものの1つに○をつけてください。

「利用しやすくしてほしい（利用の条件や手続きなど）」の割合が47.4%と最も高く、次いで「利用できる時間帯を増やしてほしい」が16.0%、「ヘルパー事業所が増えてほしい」が14.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「ヘルパー事業所が増えてほしい」が増加しています。

- 利用しやすくしてほしい（利用の条件や手続きなど）
- 利用できる時間帯を増やしてほしい
- ヘルパー事業所が増えてほしい
- ヘルパーの質を上げてほしい
- 手話通訳や点訳・音訳などができる人が増えてほしい
- その他
- 無回答

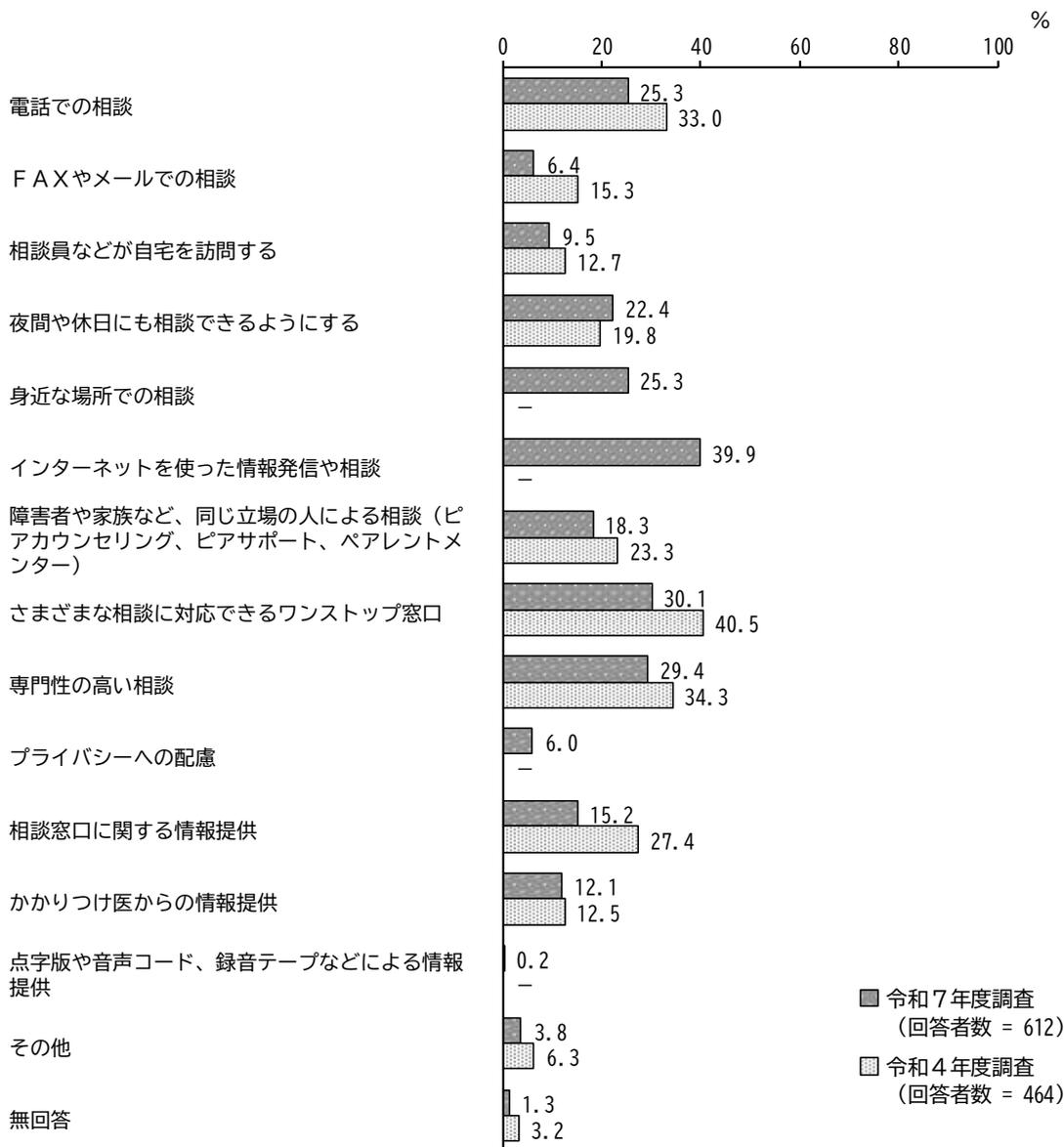


(4) 情報・相談先

問16 福祉サービスの利用について、区役所などへ相談しやすくするには、どのようなことが必要だと思えますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「インターネットを使った情報発信や相談」の割合が39.9%と最も高く、次いで「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口」が30.1%、「専門性の高い相談」が29.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「電話での相談」「FAXやメールでの相談」「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口」「相談窓口に関する情報提供」が減少しています。



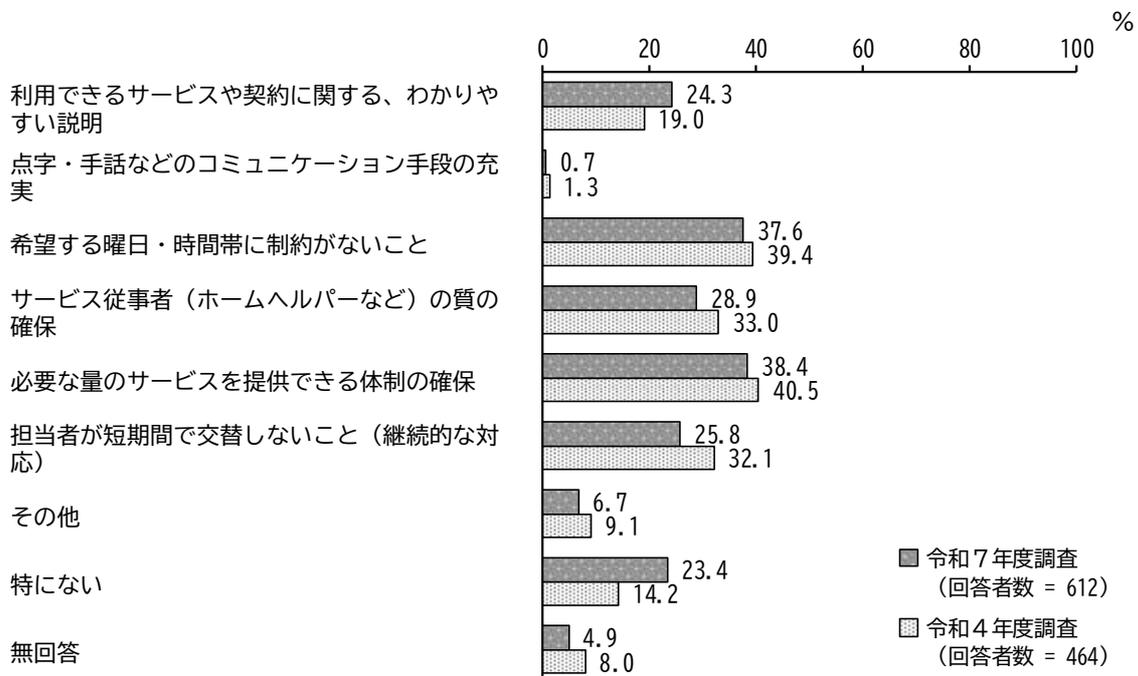
※回答項目の「身近な場所での相談」、「インターネットを使った情報発信や相談」、「プライバシーへの配慮」、「点字版や音声コード、録音テープなどによる情報提供」は今回の調査で新たに追加した選択肢です。

(5) サービスの利用

問21 現在利用しているサービス提供事業者に対して、どのようなことを望んでいますか。
 あてはまるものすべてに○をつけてください。

「必要な量のサービスを提供できる体制の確保」の割合が38.4%と最も高く、次いで「希望する曜日・時間帯に制約がないこと」が37.6%、「サービス従事者（ホームヘルパーなど）の質の確保」が28.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「利用できるサービスや契約に関する、わかりやすい説明」が増加しています。一方、「担当者が短期間で交替しないこと（継続的な対応）」が減少しています。

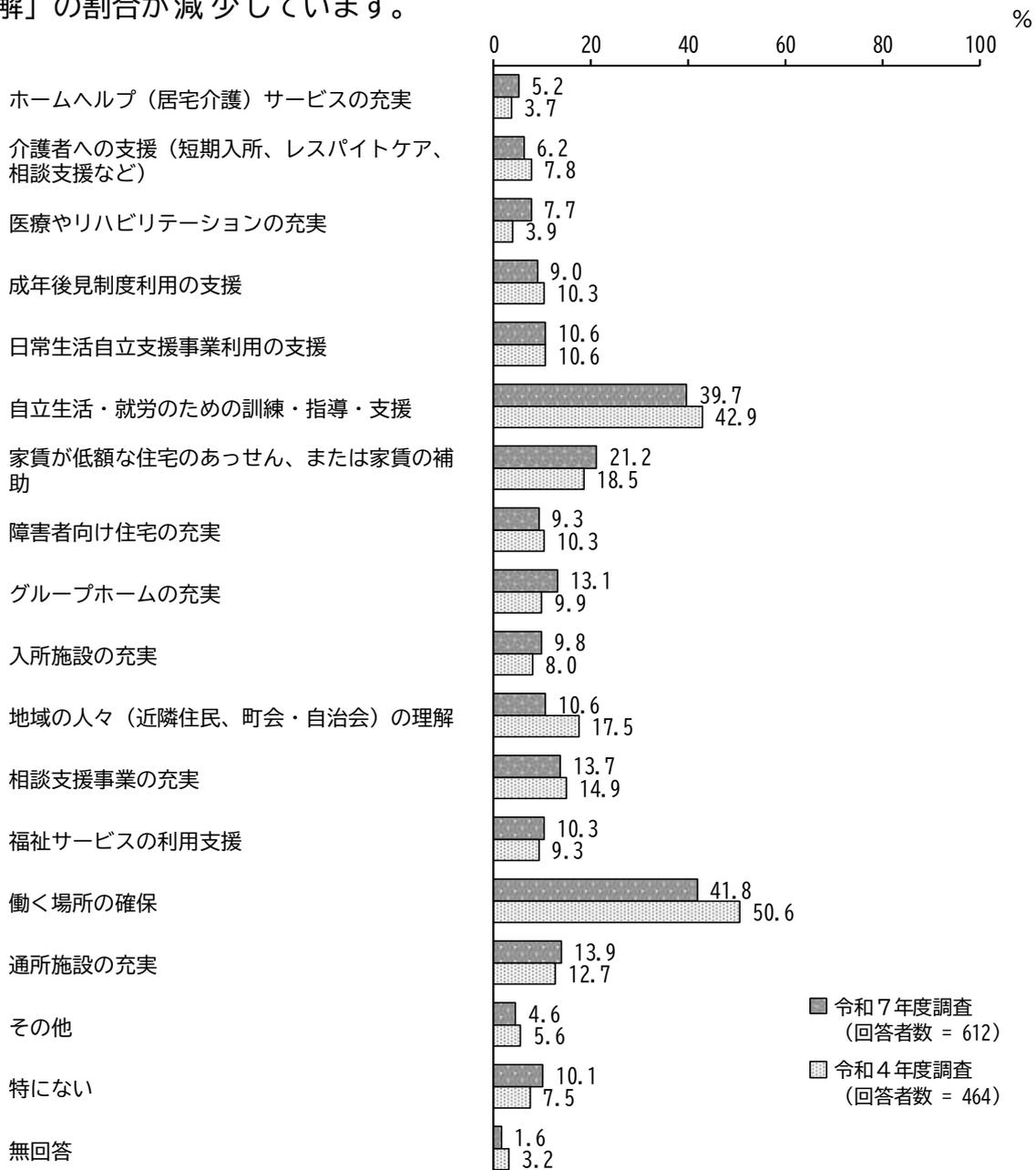


(6) 暮らし

問25 お子様が将来、自立した生活を送ることができるようになるために必要なことは、何ですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「働く場所の確保」の割合が41.8%と最も高く、次いで「自立生活・就労のための訓練・指導・支援」が39.7%、「家賃が低額な住宅のあっせん、または家賃の補助」が21.2%となっています。

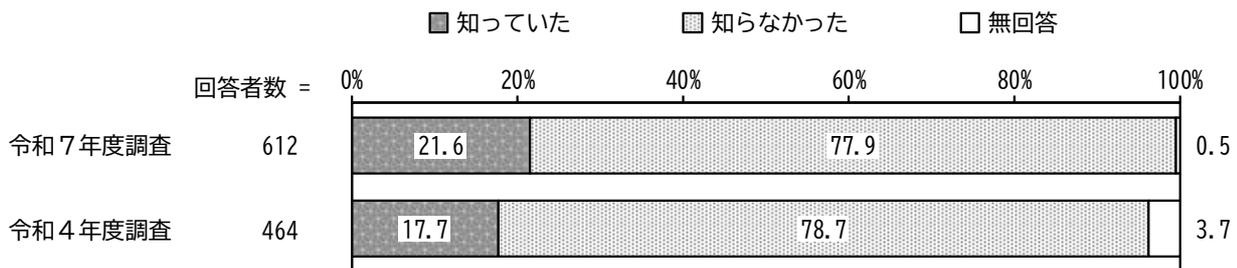
令和4年度調査と比較すると、「働く場所の確保」「地域の人々(近隣住民、町会・自治会)の理解」の割合が減少しています。



(7) 災害時の支援

問28 区では、災害が起きた時に避難することが難しい方、希望する方の情報を掲載した「避難行動要支援者名簿」を作成し、区役所や消防署、警察などで共有して災害時に役立てることとしています。この名簿について知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「知っていた」の割合が21.6%、「知らなかった」が77.9%となっています。

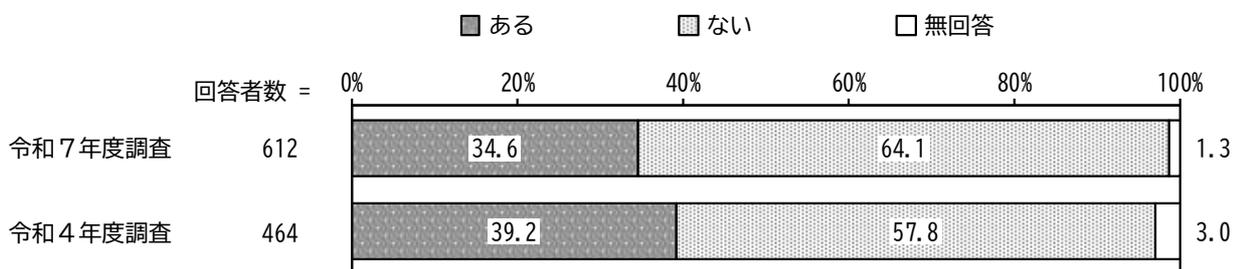


(8) 障害者施策

問35 これまでに差別をされたと感じた経験はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

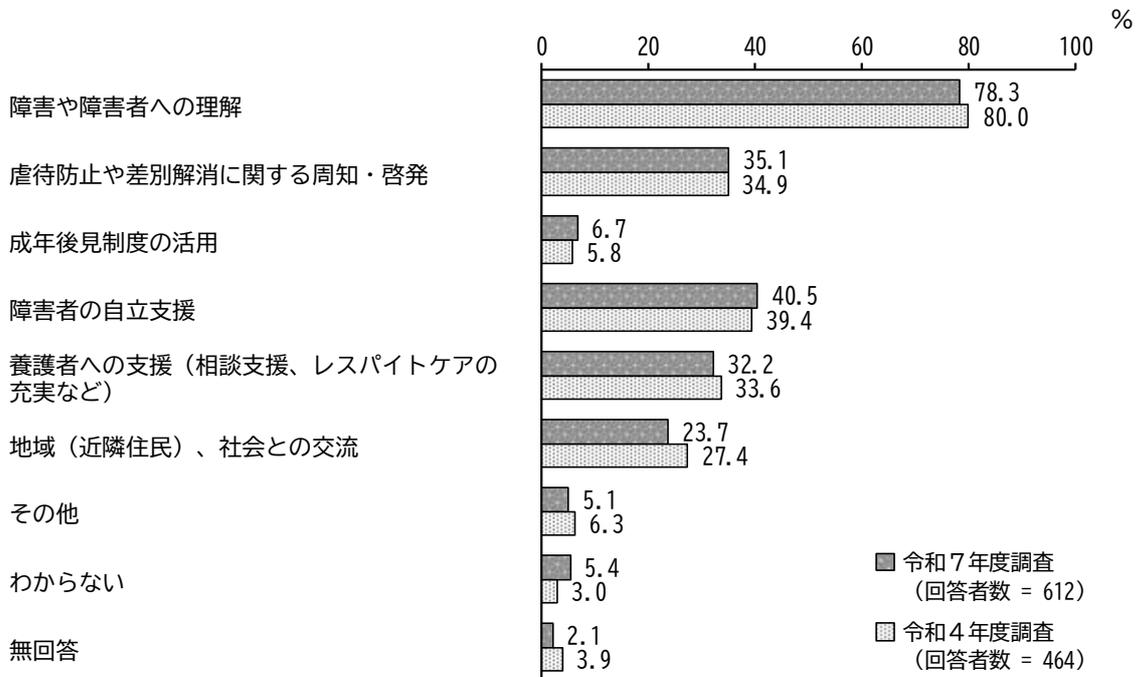
「ある」の割合が34.6%、「ない」が64.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「ない」が増加しています。



問36 障害者への虐待や差別を防ぐには、何が重要だと思いますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

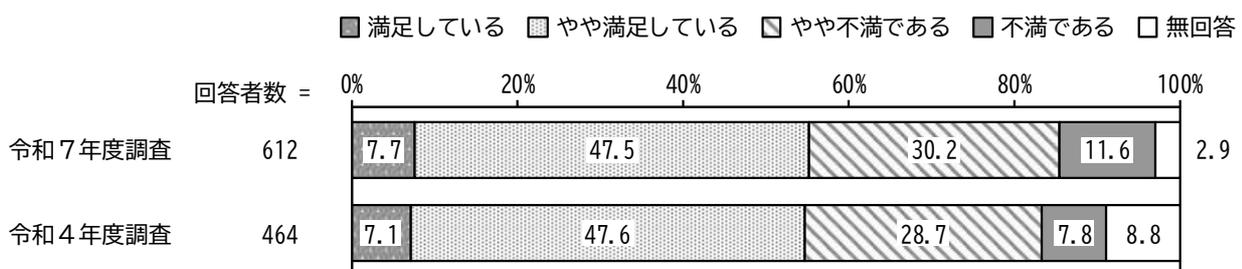
「障害や障害者への理解」の割合が78.3%と最も高く、次いで「障害者の自立支援」が40.5%、「虐待防止や差別解消に関する周知・啓発」が35.1%となっています。



問40 あなたは、障害者（児）支援施策に満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「満足している」「やや満足している」を合わせた“満足している”の割合が55.2%、「やや不満である」「不満である」を合わせた“不満である”が41.8%となっています。

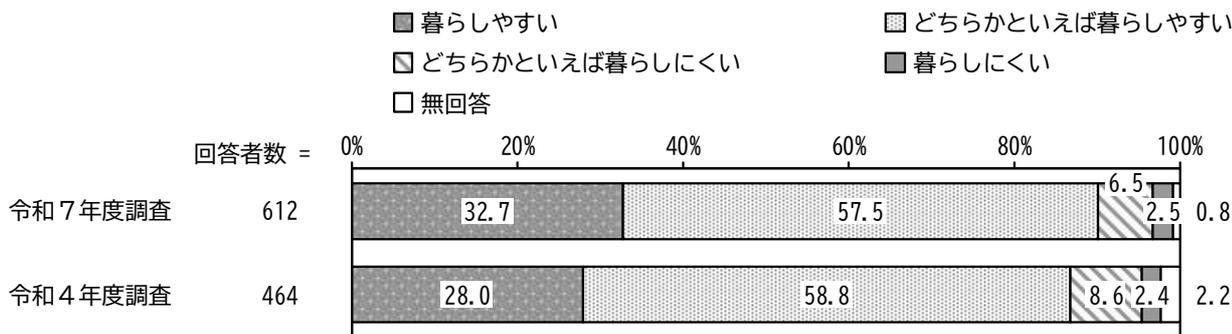
令和4年度調査と比較すると、“不満である”が増加しています。



(9) 共生社会 きょうせいしゃかい

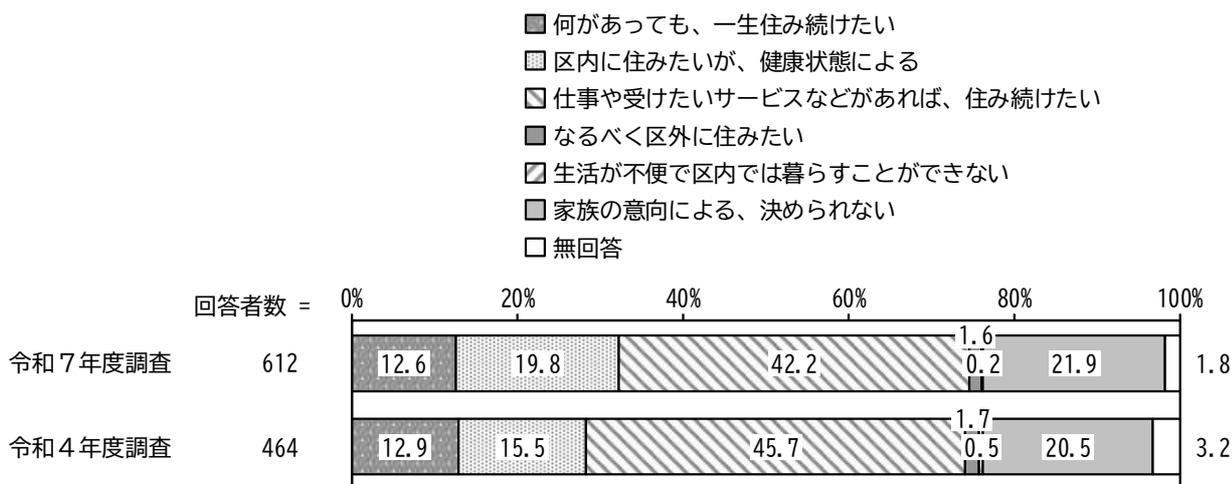
問46 あなたにとって、江東区での暮らしはいかがですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「どちらかといえば暮らしやすい」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「暮らしやすい」が 32.7%となっています。



問47 あなたは、江東区に住み続けたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「仕事や受けたいサービスなどがあれば、住み続けたい」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「家族の意向による、決められない」が 21.9%、「区内に住みたいが、健康状態による」が 19.8%となっています。

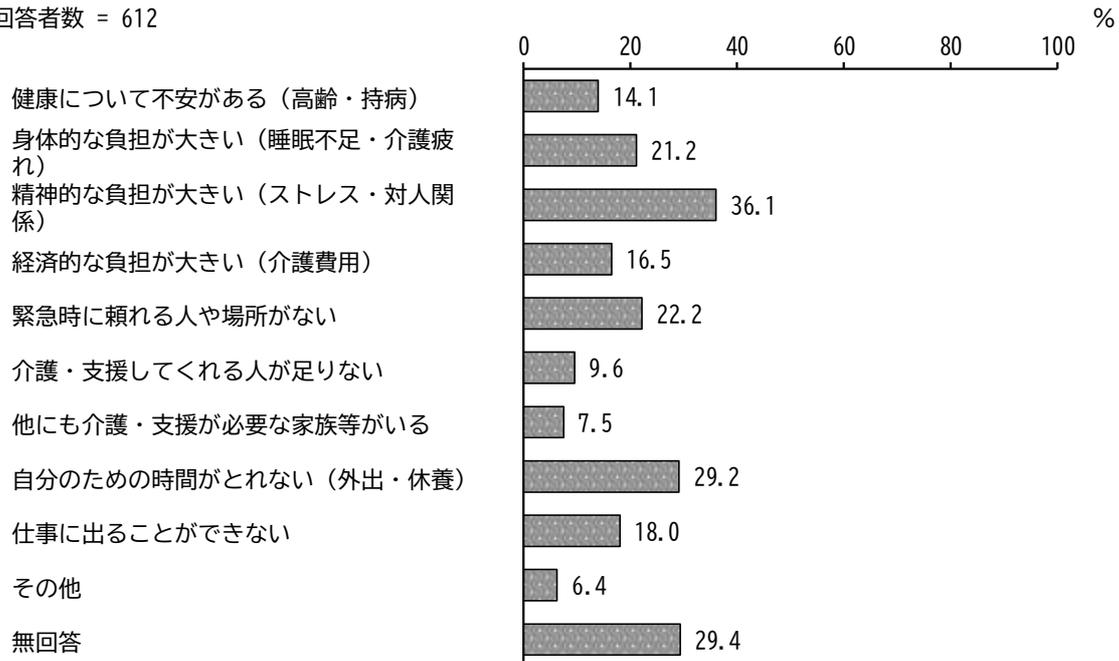


(10) 介護者

問54 介護をするにあたり、どのような悩みや不安がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「精神的な負担が大きい(ストレス・対人関係)」の割合が36.1%と最も高く、次いで「自分のための時間がとれない(外出・休養)」が29.2%、「緊急時に頼れる人や場所がない」が22.2%となっています。

回答者数 = 612

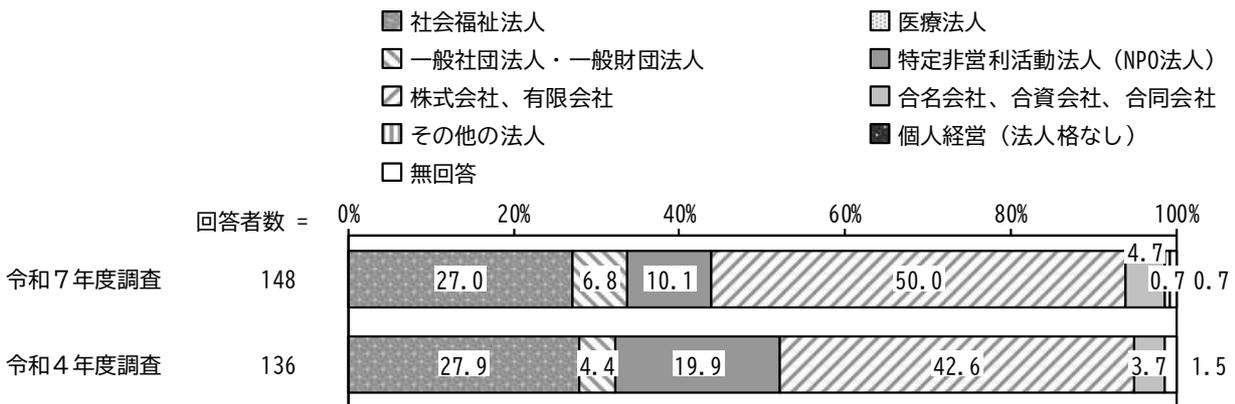


3 サービス提供事業所

(1) 事業所

問1 貴事業所の経営主体について、お聞きします。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「株式会社、有限会社」の割合が50.0%と最も高く、次いで「社会福祉法人」が27.0%、「特定非営利活動法人（NPO法人）」が10.1%となっています。

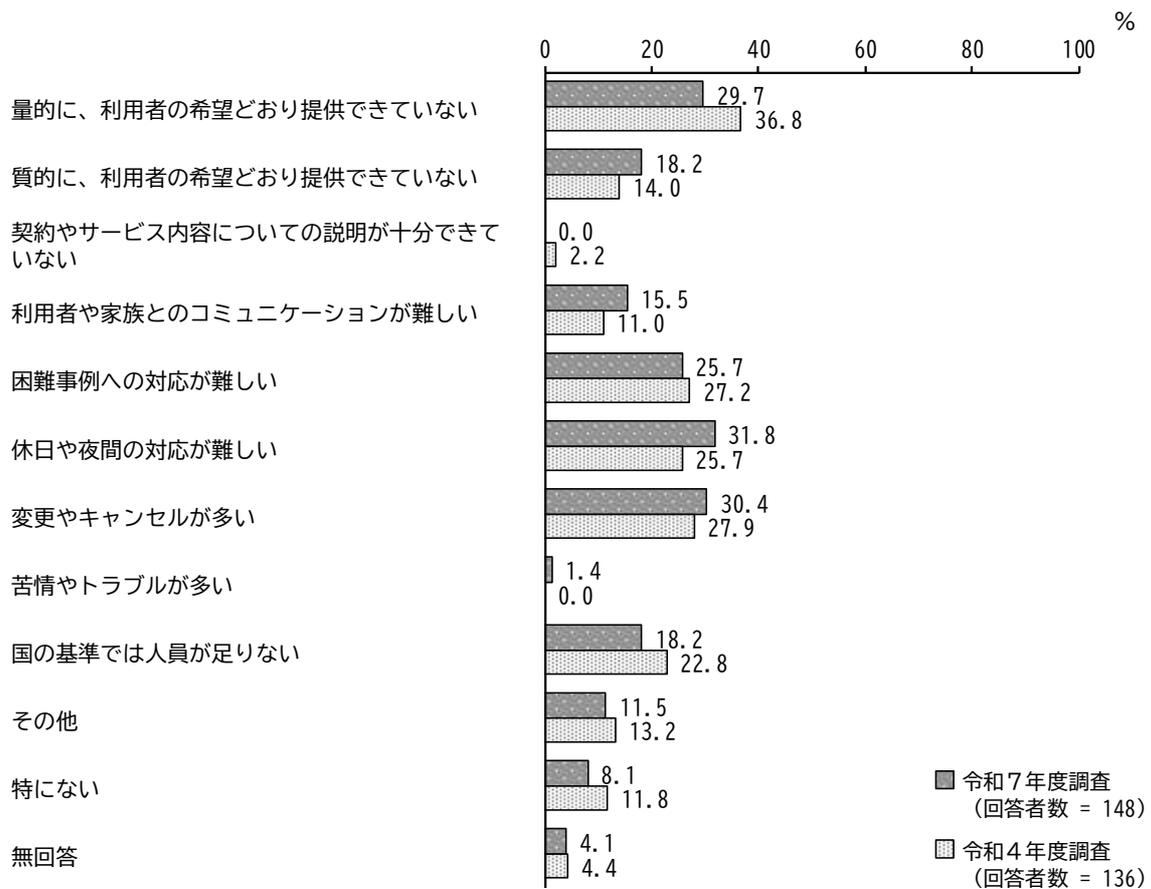


(2) サービスの提供

問9 貴事業所で、サービスを提供する上で課題となっていることについて、あてはまるものに○をつけてください。(○は3つまで)

「休日や夜間の対応が難しい」の割合が31.8%と最も高く、次いで「変更やキャンセルが多い」が30.4%、「量的に、利用者の希望どおり提供できていない」が29.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「休日や夜間の対応が難しい」が増加しています。

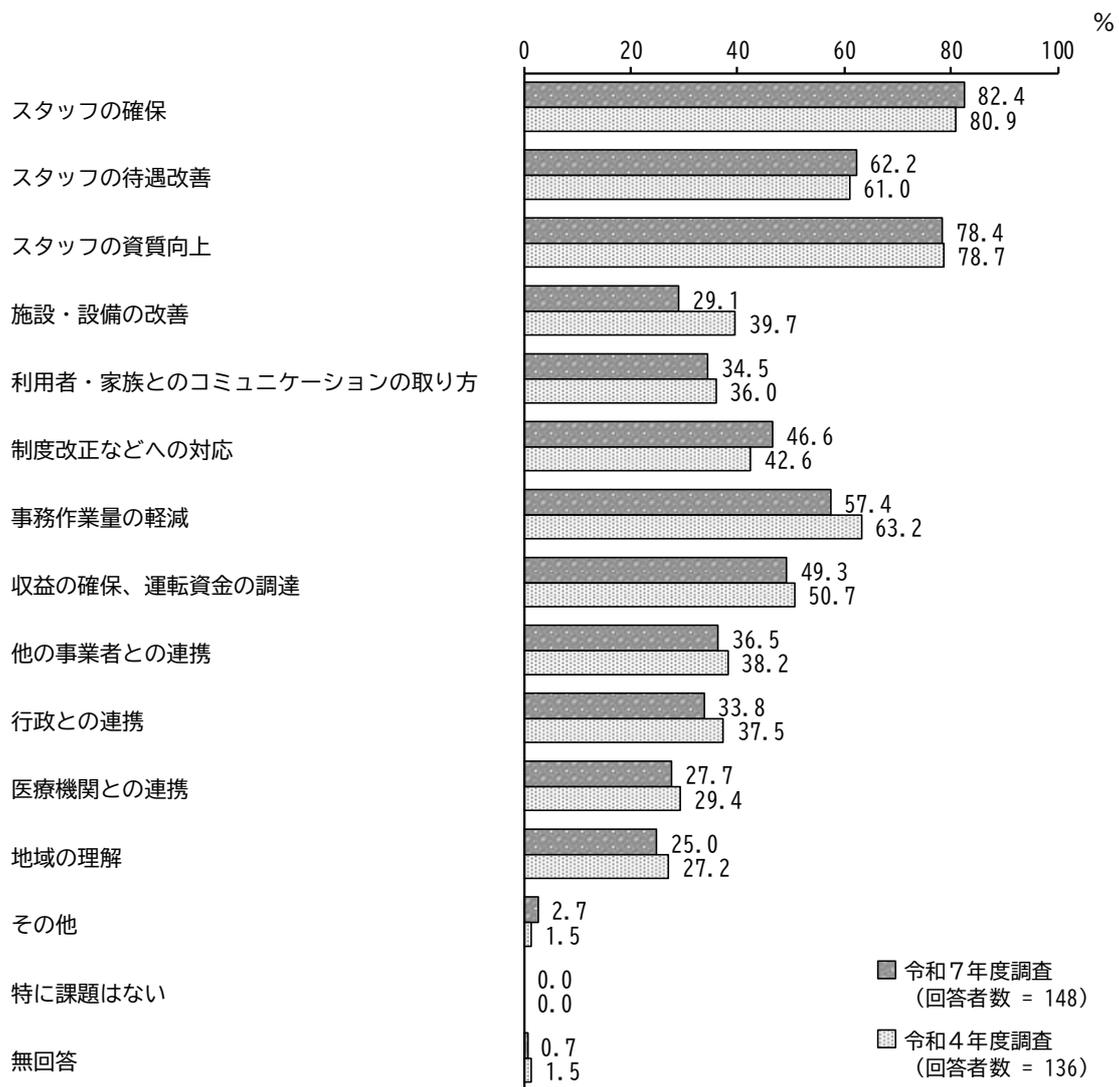


(3) 事業所運営

問17 貴事業所を経営していく上での課題について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

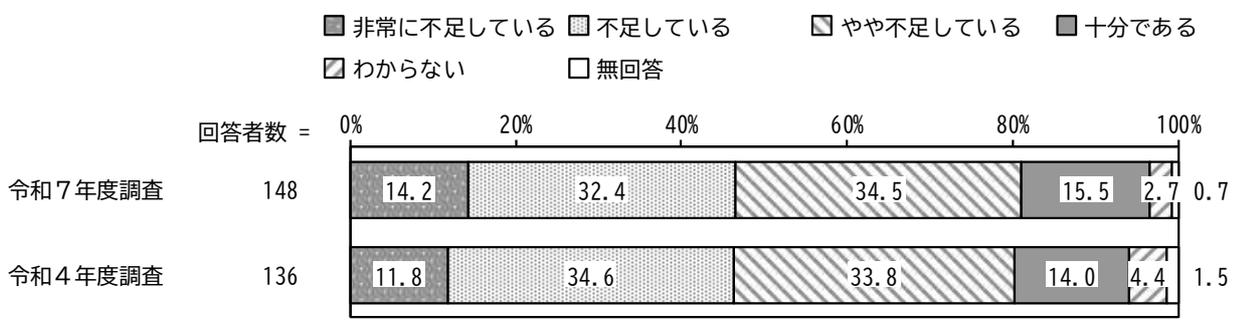
「スタッフの確保」の割合が82.4%と最も高く、次いで「スタッフの資質向上」が78.4%、「スタッフの待遇改善」が62.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「施設・設備の改善」「事務作業量の軽減」が減少しています。



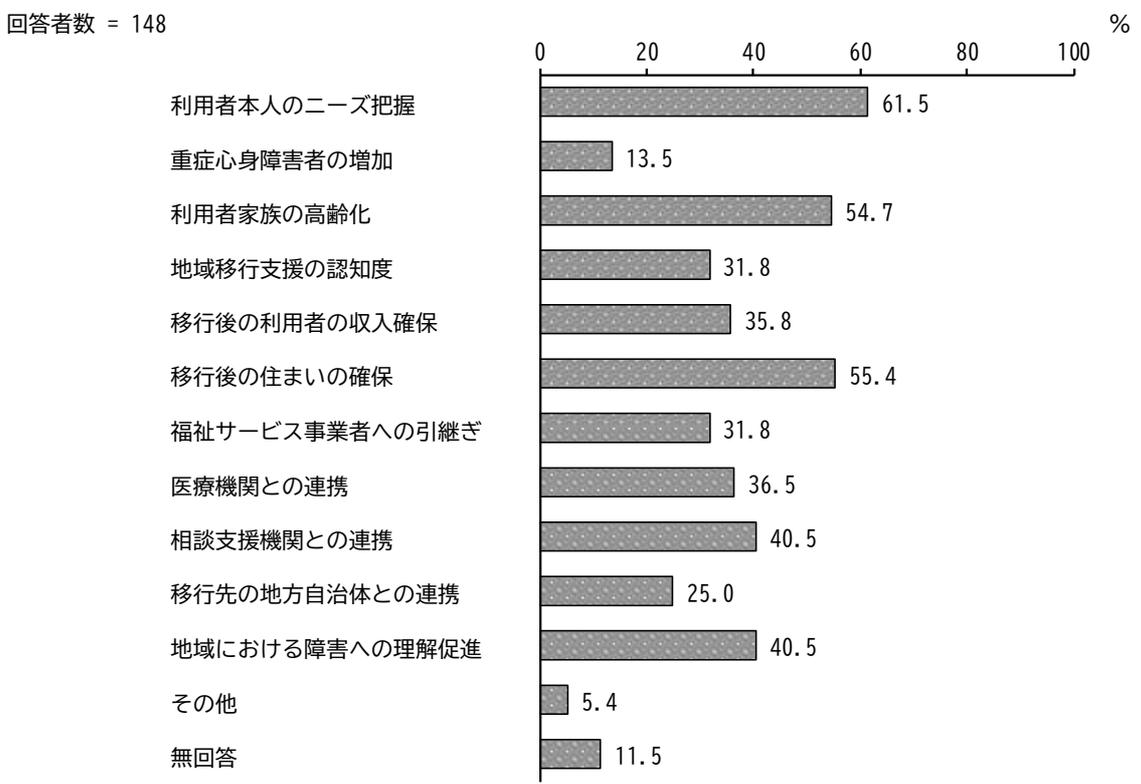
問20 職員数は充足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「やや不足している」の割合が34.5%と最も高く、次いで「不足している」が32.4%、「十分である」が15.5%となっています。「非常に不足している」「不足している」「やや不足している」を合わせると、職員不足とする事業所の割合は全体の81.1%となっています。



問31 入所者の地域生活への移行を進める上での課題と思うことについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

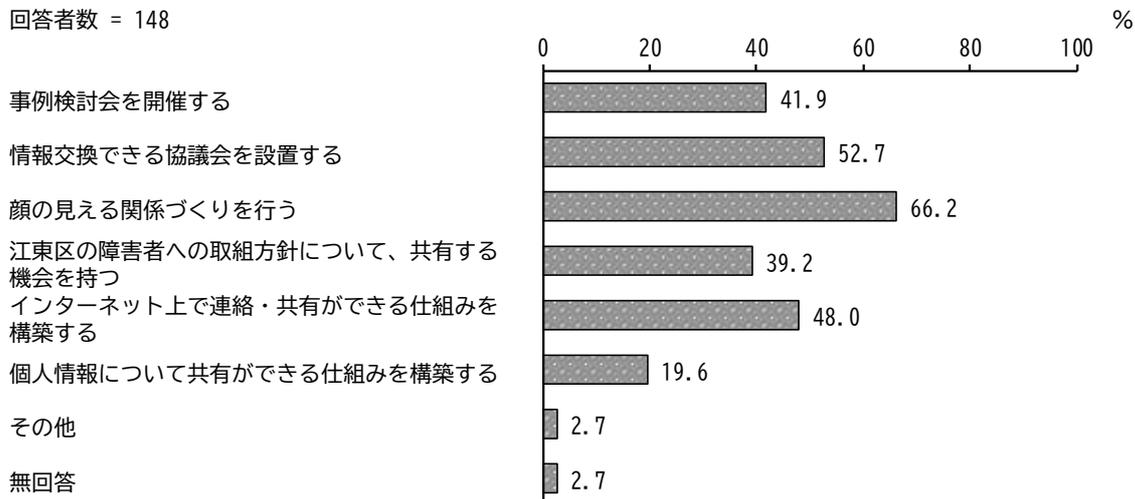
「利用者本人のニーズ把握」の割合が61.5%と最も高く、次いで「移行後の住まいの確保」が55.4%、「利用者家族の高齢化」が54.7%となっています。



問41 関係機関・団体との連携を強化するために必要なことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「顔の見える関係づくりを行う」の割合が66.2%と最も高く、次いで「情報交換できる協議会を設置する」が52.7%、「インターネット上で連絡・共有ができる仕組みを構築する」が48.0%となっています。

回答者数 = 148



れいわ ねんど
令和7年度

こうとうくちいきせいかつ かん ちょうさ
江東区地域生活に関する調査

こうとうくしょうがいしゃじつたいちょうさ
(江東区障害者実態調査)

ちょうさけつ かほうこくしょ がいようばん
【調査結果報告書 概要版】

はっこうねんげつ れいわ ねん がつ いんさつぶつとうろくばんごう ちょう
発行年月：令和8年3月 印刷物登録番号(7)121号

はつ こう こうとうく こうとうく しょうがいふくしご しょうがいしゃしやくか
発行：江東区 江東区 障害福祉部 障害者施策課

〒135-8383 とうきょうとこうとうくとうよう
東京都江東区東陽4-11-28

でん わ
電話：03-3647-4749 F A X：03-3699-0329